

I ボディー

GW ガラス・ウィンドウ・ミラー

作業上の注意	2	パワーウィンドーシステム	25
・SRSエアバッグ、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルト付き車に関する注意	2	・システム概要	25
・接着剤及びプライマーの取扱注意	2	・構成部品取付位置	25
準備品	3	・回路図	26
・特殊工具	3	・パワーウィンドーメインスイッチ入出力信号基準値	26
・溶剤	3	・BCM入出力信号基準値	28
・油脂類	3	・故障診断の進め方	28
ウインドシールドガラス	4	・診断前点検	29
・取り外し、取付	4	・現象別故障診断早見表	29
ワイパーデアイサー	8	・パワーウィンドーメインスイッチ電源及びアース回路系統	30
・システム概要	8	・運転席パワーウィンドーモーター系統	31
・構成部品取付位置	8	・パワーウィンドーメインスイッチ電源(IGN)系統	32
・回路図	8	・助手席パワーウィンドースイッチ回路系統..	33
・ワイパーデアイサースイッチ入出力信号基準値	8	・後席右パワーウィンドースイッチ回路系統..	33
サイドウィンドーガラス	10	・後席左パワーウィンドースイッチ回路系統..	34
・取り外し、取付	10	・各席(助手席、後席左右)パワーウィンドースイッチ電源系統	34
バックドアウィンドーガラス	12	・リミットスイッチ系統	35
・取り外し、取付	12	・運転席ドアスイッチ系統	36
バックドアウィンドーデフォッガー	15	・エンコーダ系統	37
・システム概要	15	フロントドアガラス&レギュレーター	40
・構成部品取付位置	15	・取り外し、取付	40
・主な構成部品とその機能	15	リヤドアガラス&レギュレーター	43
・CAN通信信号一覧	16	・取り外し、取付	43
・回路図	18	ドアミラー	46
・BCM入出力信号基準値	18	・電動格納ドアミラーの取り扱い上の注意	46
・IPDM E/R入出力信号基準値	18	・回路図	46
・故障診断の進め方	19	・取り外し、取付	47
・診断前点検	19	・分解、組み立て	48
・CONSULT- の機能	19	インサイドミラー	50
・故障診断	21	・取り外し、取付	50

作業上の注意

PFP:00001

SRS エアバッグ、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルト付き車に関する注意

JIS002NW

- 警告：**
- SRS エアバッグ、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトシステム関連の構成部品脱着及びハーネス脱着は、キースイッチ OFF で、バッテリー端子を外してから 3 分以上放置後行うこと。(エアバッグセンサーユニット内の補助電源回路に蓄えられた電気を放電させるため。)
 - 構成部品の脱着に、エアツール及び電動ツール等は使用しないこと。
 - SRS エアバッグ、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトシステム用のハーネスは、ハンダ等による修理は禁止である。また、ハーネスの噛み込み及び他部品との干渉に十分注意すること。
 - SRS エアバッグ、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルト回路及び単品状態での点検をするときはサーキットテスター等の電気テスターを使用しないこと。(テスターの微電流による作動防止)
 - エアバッグモジュール、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトのコネクターに、ドライバー等の異物の差し込みは禁止である。(静電気による作動防止)
 - SRS エアバッグ、アクティブシートクッション及びプリテンショナーシートベルトのハーネスには、識別として黄色のハーネスコネクターを使用し、他のハーネスとの区別をしている。
 - 安全に整備作業を行うために、「SRS SRS エアバッグ」を参照すること。

接着剤及びプライマーの取扱注意

JIS002NX

- 接着剤は製造日より 6 カ月以内のものを使用すること。
- プライマー及び接着剤は冷暗場所に保管すること。
- プライマー及び接着剤は使用直前に開封すること。また、残りは再使用しないこと。
- プライマーは使用前に必ず容器を振り、かくはんすること。また、浮遊物などがある場合は使用しないこと。
- プライマー及び接着剤が皮膚に付着した場合は、ホワイトガソリンで拭き取り、石けんで洗うこと。
- プライマー及び接着剤の使用に関しては、上記以外に取扱説明書の注意事項を必ず守ること。

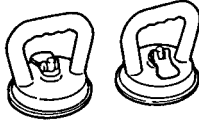
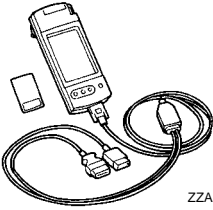
準備品

準備品
特殊工具

PF0:00002

JIS002NY

A

名称	用途
吸引ゴム盤 ST 0880  ZZA0976D	ウインドシールドガラス、 バックドアウインドーガラス脱着
電子システム診断テスター CONSULT-II EG1187 0000 診断用プログラムカード EG1187 0100 (バージョン JJD01B)  ZZA1207D	システム点検、診断用

B

C

D

溶剤

JIS002NZ

E

名称	用途	備考
プライマー	プライマー M: 塗装面用 プライマー G: ガラス用	各日産部品販売会社

油脂類

JIS00200

F

名称	用途	備考
ニッサン MP スペシャルグリース No . 2 KRB00 12025 (2.5kg) KRB00 12016 (16kg)	ドアレギュレーター部及びガイドレール しゅう 動部塗布	各日産部品販売会社

G

H

GW

J

K

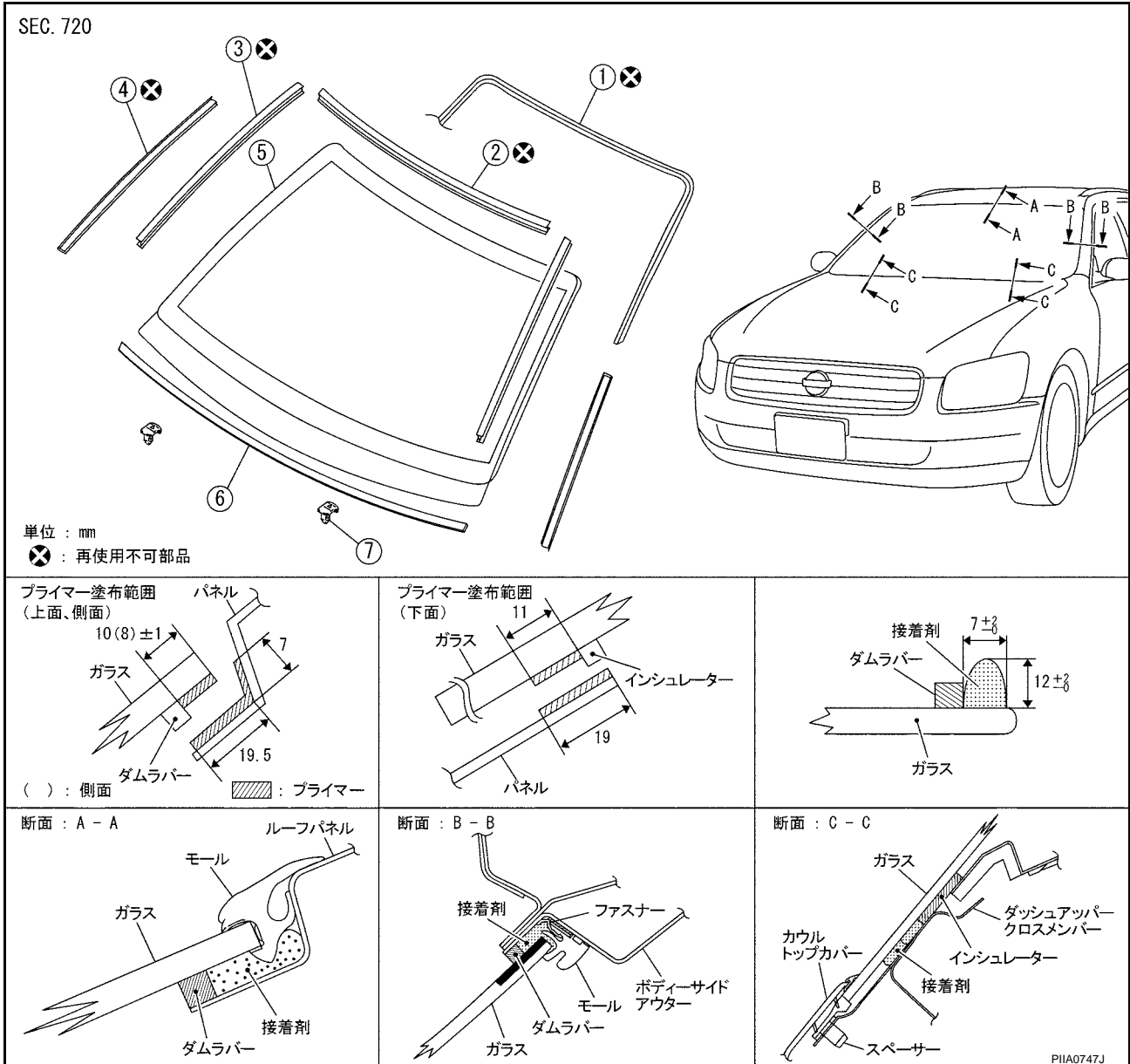
L

ウインドシールドガラス

PFP:72712

取り外し、取り付け

JIS00201



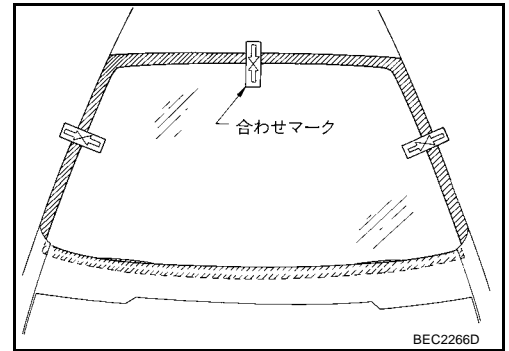
- | | | |
|-----------------|------------------|---------------|
| 1. : ダムラバー (上面) | 2. : モール (上面) | 3. : モール (側面) |
| 4. : ファスナー | 5. : ウインドシールドガラス | 6. : インシュレーター |
| 7. : スペーサー | | |

取り外し

1. フロントピラーガーニッシュ及びヘッドライニング前部を取り外す。「EI 外装・内装」の「[ボディーサイドトリム](#)」(EI-30 ページ)、「[ヘッドライニング](#)」(EI-37 ページ) 参照。
2. カウルトップカバーを取り外す。「EI 外装・内装」の「[カウルトップ](#)」(EI-14 ページ) 参照。
3. ワイパーデアイサーのハーネスコネクタ及びグロメットを取り外す。(寒冷地仕様車)
4. ウインドシールドガラス周辺に保護テープを貼り、塗膜の傷付け防止を図る。
5. カッターナイフをガラスに沿わせながらモール表面を切り取る。
6. ボディーフランジ部に残ったモールをプライヤー等で引き抜き、ガラス接着面から完全に取り除く。

ウインドシールドガラス

- ウインドシールドガラスを再使用する場合、ボディーとガラスに合わせマークを付ける。



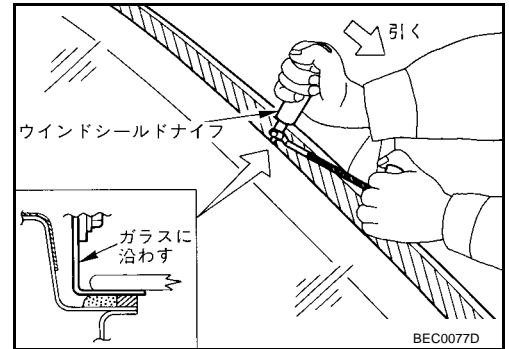
7. 接着剤を切断する。

- 使用工具により、下記の要領で行う。

注意：ウインドシールドガラス再使用時は、ウインドシールドナイフは使用しないこと。(ガラスに傷が付くため)

a. ウインドシールドナイフを使用する場合 (ガラス交換時)

- ウインドシールドナイフのすべりを良くするため、ボディー側の接着部全周に石けん水を塗布する。
- 接着部にウインドシールドナイフを差し込み、刃先をガラスと平行に沿わせて引き、接着剤を切断する。

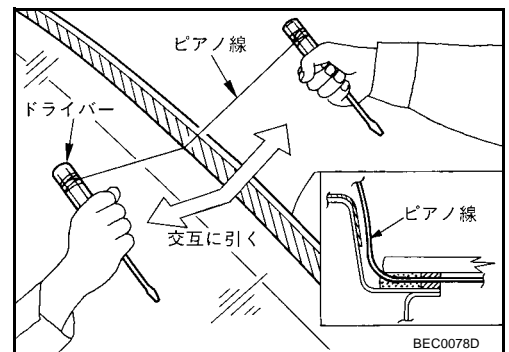


b. ピアノ線を使用する場合 (ガラス再使用時)

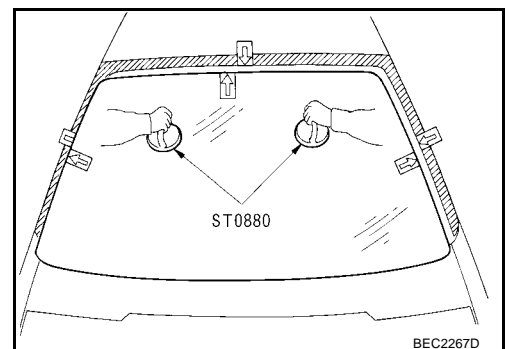
- 室内からガラスの接着部にキリ又はカッターなどで貫通穴を開ける。
- 上記の貫通穴に室内からピアノ線を通し両端をドライバー等に結ぶ。
- 車両の内と外でガラスに沿ってピアノ線を交互に引き、接着剤を切断する。

注意：ピアノ線をガラス端部に強く接触させないこと。

- ワイパーデアイサーのリード線を損傷しないように注意すること。
- ピアノ線をインストパネル等の樹脂部に接触させないように銅板等を置くこと。



8. 吸引ゴム盤 (特殊工具) を使ってガラスを車両から外す。

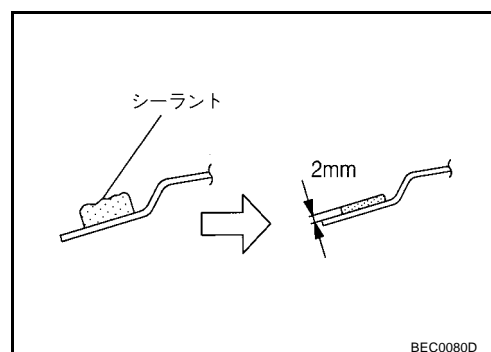


ウインドシールドガラス

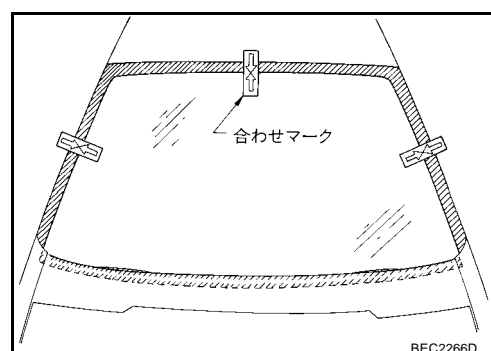
取り付け

1. 車両側の接着剤（シーラント）残片をナイフ等で厚さ 2mm 位に全周を平滑に削り取る。

注意： ボディー側の接着面に傷が付いた場合は必ず 2 型ウレタン塗料で補修し、ラッカー塗料は使用しないこと。



2. スペースを交換する。
3. 新品ガラスの取り付けは、ガラスを車両に乗せ、合わせマークをボディーとガラスに付けた後、再びガラスを取り外す。
4. 再使用ガラスはガラスに残っている接着剤（シーラント）残片をナイフ等で平滑に削り取る。
5. ガラスの接着面をホワイトガソリンで清掃する。



6. ダムラバーをガラス上面及び側面に貼り付ける。
7. ウインドシールドインシュレーターをガラス下面に貼り付ける。
8. プライマー G をガラス全周に塗布する。

注意： プライマーは、以下の 2 種類あるためその使用方法を絶対に間違えないこと。

プライマー M：塗装面用

プライマー G：ガラス用

参考：プライマーは、ガラスと塗装面との接着力を強力にする重要な働きをする。

9. 車両側接着面にプライマー M を塗布する。

注意： ・ プライマー M が接着面以外の塗面に付着したり、はみ出した場合は、素早くホワイトガソリンで拭き取ること。

・ プライマー M がインストルメントパネルに付着しないよう銅板等を置くこと。

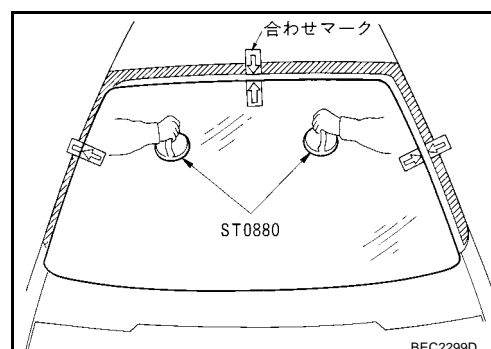
10. プライマー塗布後、取扱説明書に指定された時間内で図の要領でガラス全周に接着剤を塗布する。

・ 接着剤のノズル先端をカットし、開栓してからシーラントガンにセットする。

11. ガラスに吸引ゴム盤（特殊工具）をセットした後、ボディーとガラスの合わせマークを合わせ車両に取り付ける。

12. ガラス全面を軽く押し、完全に密着させる。

13. ヘラなどで接着剤のはみ出しや不足を修正し平滑にする。



14. ウインドシールドモールを位置決めし、接着する。

ウインドシールドガラス

- 注意：**
- ウインドシールドモールの取り付けは、接着剤が硬化する前に必ず行うこと。
 - ガラス装着後、接着剤が硬化するまでドアガラスを開けておくこと。また、走行させないこと。

15. 雨漏れを点検する。

16. 保護テープをはがす。

17. 取り外した部品を取り付ける。

A

B

C

D

E

F

G

H

GW

J

K

L

ワイパーデアイサー

ワイパーデアイサー システム概要

PFP:25358

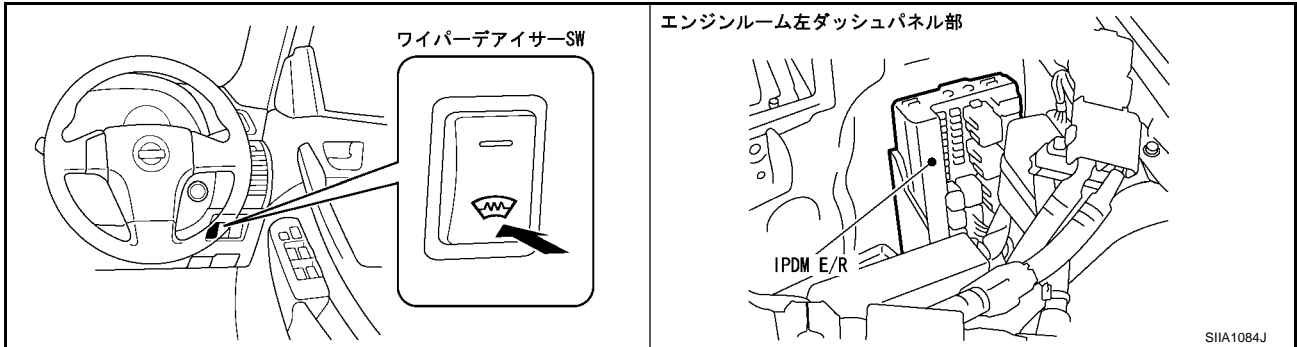
JIS00202

タイマー機能

- キースイッチ ON 時、ワイパーデアイサースイッチ OFF→ON 時点でワイパーデアイサーに出力し、同時にタイマー機能（約 15 分間）が作動する。
- タイマー機能作動中、ワイパーデアイサースイッチ OFF→ON 時点で、タイマー機能とワイパーデアイサーの出力を停止する。また、タイマー機能作動中、キースイッチを OFF にした場合も同様である。

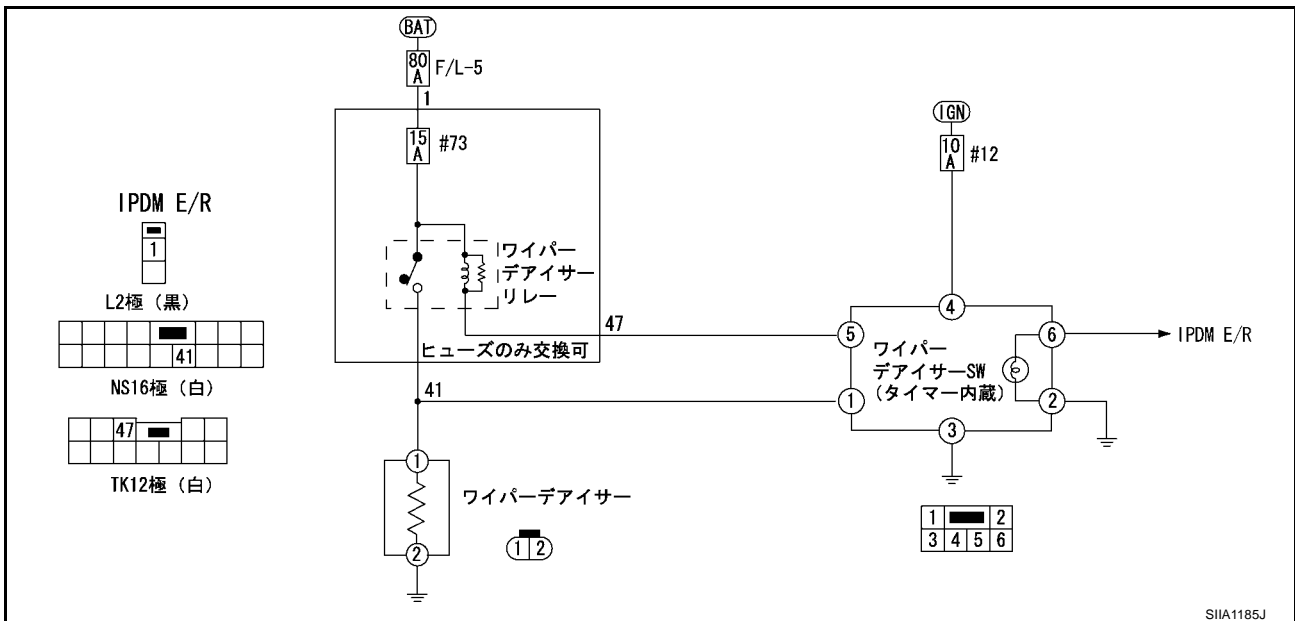
構成部品取付位置

JIS00203



回路図

JIS00204



ワイパーデアイサースイッチ入出力信号基準値

JIS00205

端子番号	信号名称	測定条件		基準値	
		キーSW	操作		
1	インジケータ電源	ON	ワイパーデアイサー SW	OFF	約 0V
				ON (押し続けた状態)	約 12V
2	イルミネーションアース	OFF	ライト SW1 段	約 0V	
3	アース	ON		約 0V	
4	IGN 電源	ON		約 12V	

ワイパーデアイサー

端子 番号	信号名称	測定条件		基準値	
		キー SW	操作		
5	ワイパーデアイサーリレー 制御信号	ON	ワイパーデアイサー SW	OFF	約 12V
				ON	約 0V 注意
6	イルミネーション電源	ON	ライト SW1 段		約 12V

注意： ワイパーデアイサー出力時（約 15 分間）

A

B

C

D

E

F

G

H

GW

J

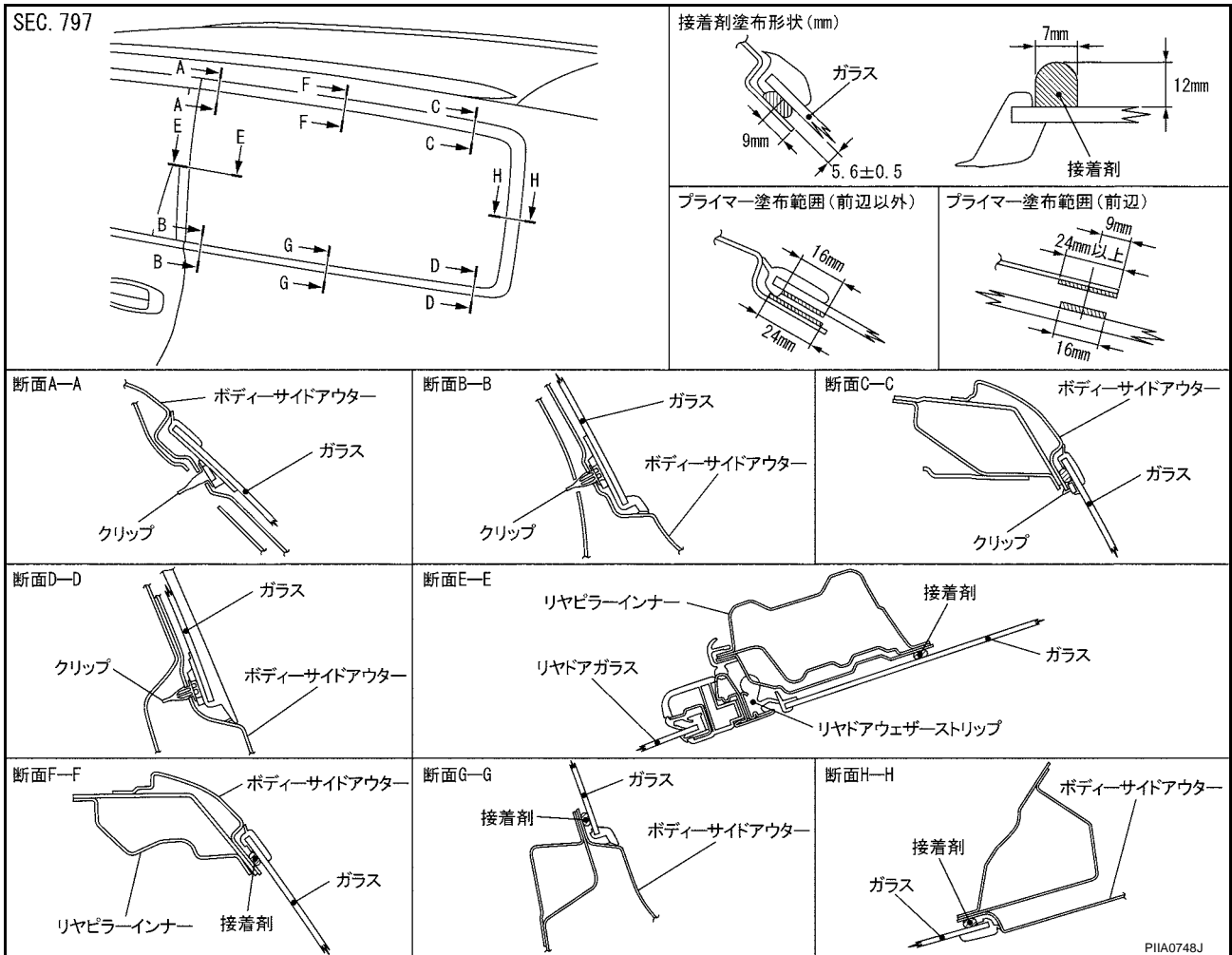
K

L

サイドウインドーガラス
取り外し、取り付け

PF0:83300

JIS00206



取り外し

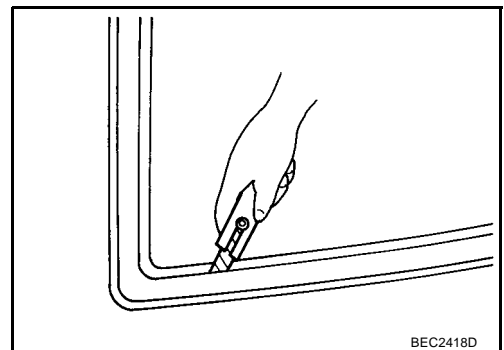
1. リヤピラーフィニッシャー、バックピラーガーニッシュ及びリヤルーフサイドガーニッシュを取り外す。
2. プリント式アンテナのコネクターを外す。
3. サイドウインドーガラス周辺の車体パネル部に保護テープを貼り、塗膜の傷付け防止を図る。

4. サイドウインドーガラス車両前側 (リヤピラー貼付部) は、リヤドアを開け、車両外側よりサイドウインドーガラスとリヤピラーパネルの間にカッターナイフを差し込み、ガラスと平行に沿わせて、接着剤を切断する。

5. 上記以外のサイドウインドーガラス貼付部は、車両内側より、サイドウインドーガラスと車体パネルの間にカッターナイフ等を差し込み、刃先をガラスと平行に沿わせて、接着剤を切断する。

注意: カッターナイフの刃先が塗装面に当たらないようにすること。

6. クリップ (4箇所) を外しながらガラスを車両から取り外す。



サイドウインドーガラス

取り付け

1. 車両側残片をナイフ等で厚さ 2mm 位に全周を平滑に削り取る。

注意： 車両側の接着面に傷が付いた場合、必ず 2 液型ウレタン塗装で補修し、ラッカー塗料は使用しないこと。

2. モールの接着面と周辺をホワイトガソリンで清掃する。

3. プライマーを塗布する。

参考： プライマーは、ガラスと塗装面の接着力を強力にする重要な働きをする。

注意： プライマーは 2 種類あるため、その使用方法を絶対に間違えないこと。

プライマー M： 塗装面用

プライマー G： ガラス用

• プライマー G を構成図の指示にしたがってガラス全周に塗布する。

4. 車両側接着面にプライマー M を塗布する。

注意： プライマー M が接着面以外の塗面に付着したり、はみ出した場合は素早くホワイトガソリンで拭き取ること。

5. プライマー塗布後、取扱説明書に指定された時間内で図の要領でガラス全周に接着剤を塗布する。

• 接着剤のノズル先端をカットし、開栓してからシーラントガンにセットする。

6. ガラスに吸引ゴム盤（特殊工具）をセットした後、車両側穴とガラスのクリップを合わせ車両に取り付ける。

7. ガラス全面を軽く押し、完全に密着させる。

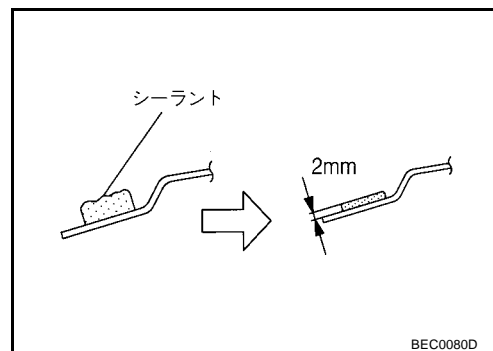
8. ヘラなどで接着剤のはみ出しや不足を修正し平滑のする。

注意： ガラス装着後、接着剤が硬化するまでドアガラス（フロント、リヤ）を開けておくこと。また、走行させないこと。

9. 雨漏れを点検する。

10. 保護テープをはがす。

11. 取り外した部品を取り付ける。



A

B

C

D

E

F

G

H

GW

J

K

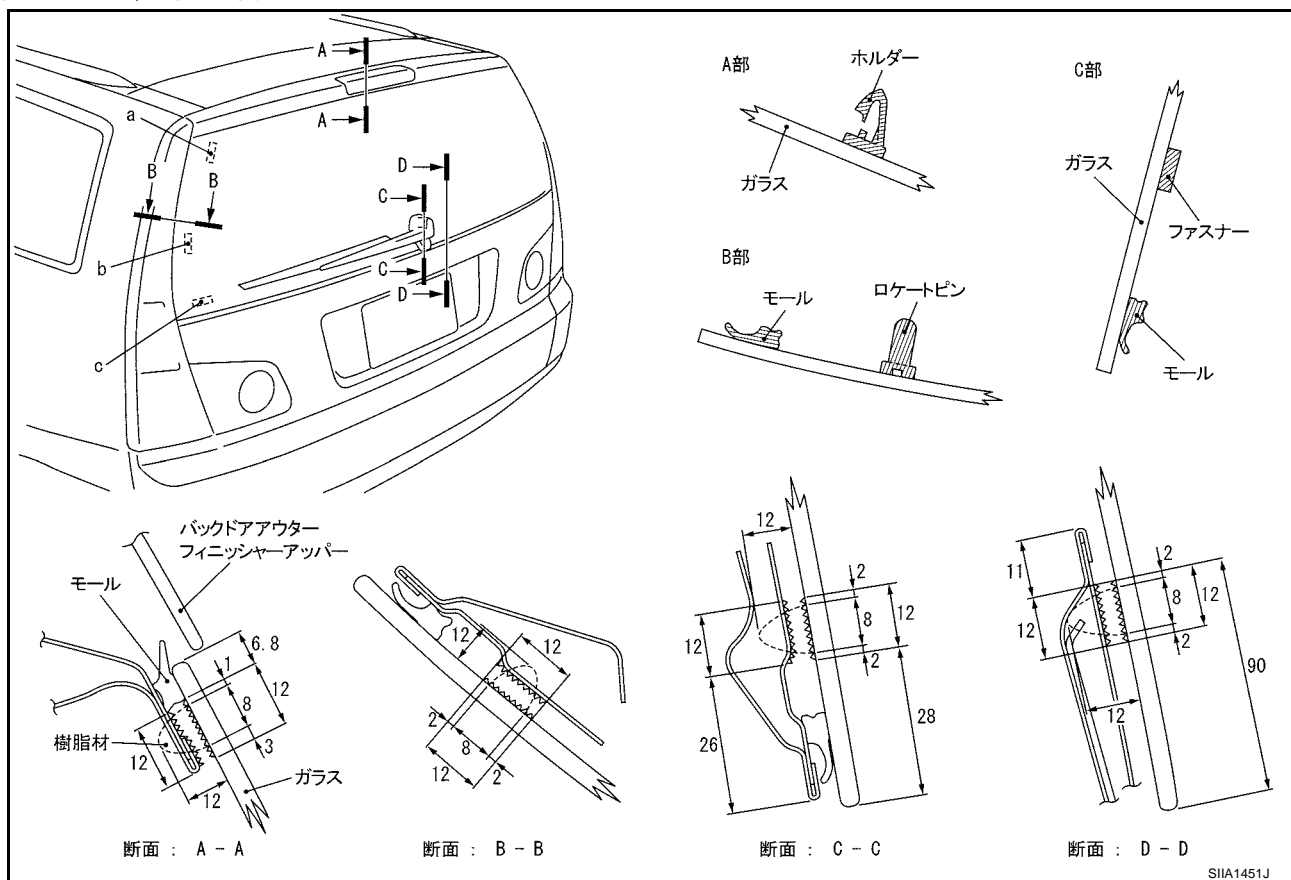
L

バックドアウインドーガラス

PF90300

取り外し、取り付け

JIS00207



取り外し

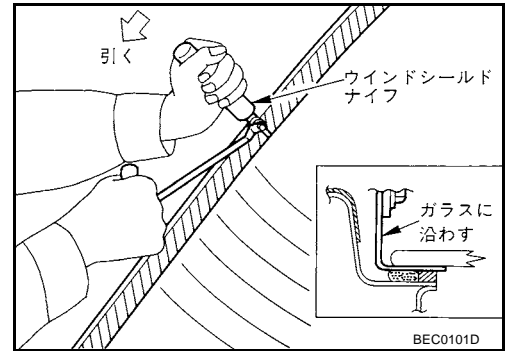
1. ガラスハッチを開ける。
2. ガラスハッチインナーフィニッシャー（アッパー、ロア及びロアサイド）を取り外す。「EI 外装・内装」の「[バックドアインナーフィニッシャー](#)」(EI-25 ページ) 参照。
3. ハイマウントストップランプを取り外す。「LT ライティングシステム」の「[ハイマウントストップランプ](#)」(LT-86 ページ) 参照。
4. ガラスハッチオープナースイッチを取り外す。「BL ボディー・ロック・セキュリティー」の「[ガラスハッチオープナースイッチ](#)」(BL-69 ページ) 参照。
5. リヤデフォグガーとプリント式アンテナのコネクターを取り外す。
6. ガラス周辺に保護テープを貼り、塗膜の傷付け防止を図る。
7. 接着剤を切断する。
 - 使用工具により、下記の要領で行う。

注意： ガラス再使用時はウインドシールドナイフは使用しないこと。（ガラスに傷が付くため）

バックドアウインドーガラス

a. ウインドシールドナイフを使用する場合（ガラス交換時）

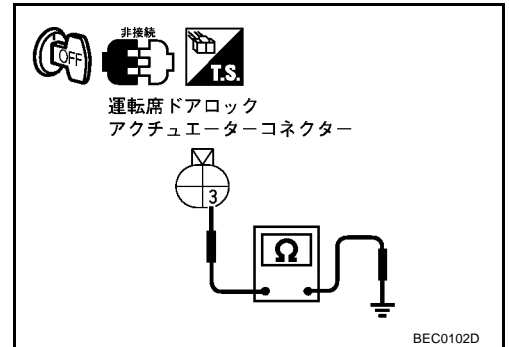
- i. ウインドシールドナイフのすべりを良くするため、ガラスハッチパネル側の接着部全周に石けん水を塗布する。
- ii. 接着部に室内側からウインドシールドナイフを差し込み、刃先をガラスと平行に沿わせて引き、接着剤を切断する。



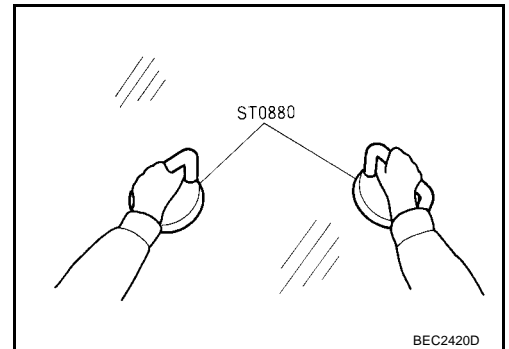
b. ピアノ線を使用する場合（ガラス再使用時）

- i. 室内側からガラスの接着部にカッターなどで貫通穴を開ける。
- ii. 上記貫通穴に室内からピアノ線を通し両端をドライバー等に結びつける。
- iii. 車両の内と外でガラスに沿ってピアノ線を交互に引き、接着剤を切断する。

注意：・ピアノ線をガラス端部に強く接触させないこと。



8. ホルダー及びロケットピン（各 2 箇所）を外しながら吸引ゴム盤（特殊工具）を使ってガラスを車両から取り外す。

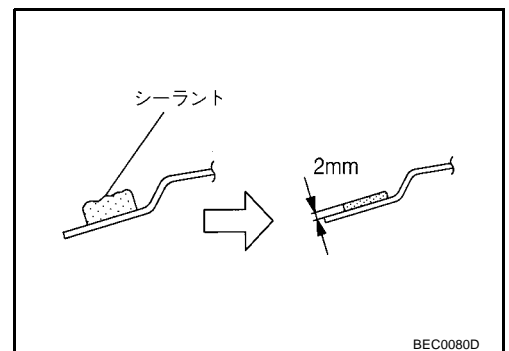


取り付け

1. 車両側の残片をナイフ等で厚さ 2mm 位に全周を平滑に削り取る。

注意： ボディー側の接着面に傷が付いた場合は必ず 2 液型ウレタン塗料で補修し、ラッカー塗料は使用しないこと。

2. 再使用ガラスはガラスに残っている接着剤をナイフなどで平滑に削り取る。
3. ガラスの接着面と周辺をホワイトガソリンで清掃する。
4. バックドアウインドーモールを上辺中央を起点として、ガラス全周に貼り付ける。



5. ダムラバーを図の寸法指示（構成図）にしたがい、下端クリップの位置決めマークを起点として貼り付ける。
6. プライマーを塗布する。

参考：プライマーは、ガラスと塗装面の接着力を強力にする重要な働きをする。

注意： プライマーは 2 種類あるため、その使用方法を絶対に間違えないこと。

プライマー M：塗装面用

プライマー G：ガラス用

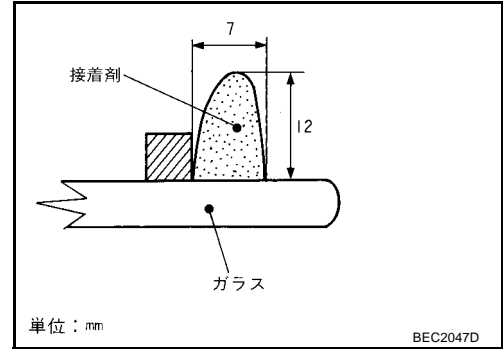
- ・プライマー M 及びプライマー G を図の指示にしたがってガラス全周に塗布する。

バックドアウインドーガラス

- プライマー M が接着面以外の塗面に付着したり、はみ出した場合は、素早くホワイトガソリンで拭き取ること。

7. プライマー塗布後、取扱説明書に指定された時間内で図のガラス全周に接着剤を塗布する。

- 接着剤のノズル先端をカットし、開栓してからシーラントガンにセットする。



8. ガラスに吸引ゴム盤（特殊工具）をセットした後、ホルダー及びロケートピン（各2箇所）をボディーの穴に合わせて取り付け。

9. ガラス全面を軽く押して完全に密着させる。

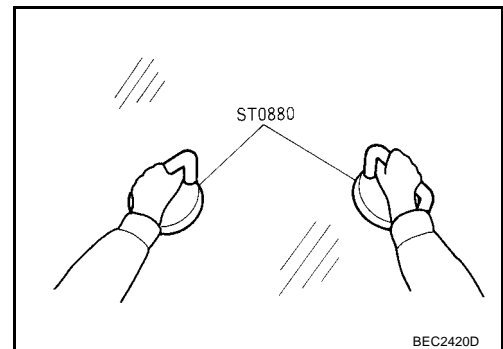
10. へらなどで接着剤のはみ出しや不足を修正し平滑にする。

- 注意：**ガラス装着後、接着剤が硬化するまでドアガラスを開けておくこと。また、走行させないこと。

11. 雨漏れを点検する。

12. 保護テープをはがす。

13. 取り外した部品を取り付ける。



バックドアウインドーデフォッガー

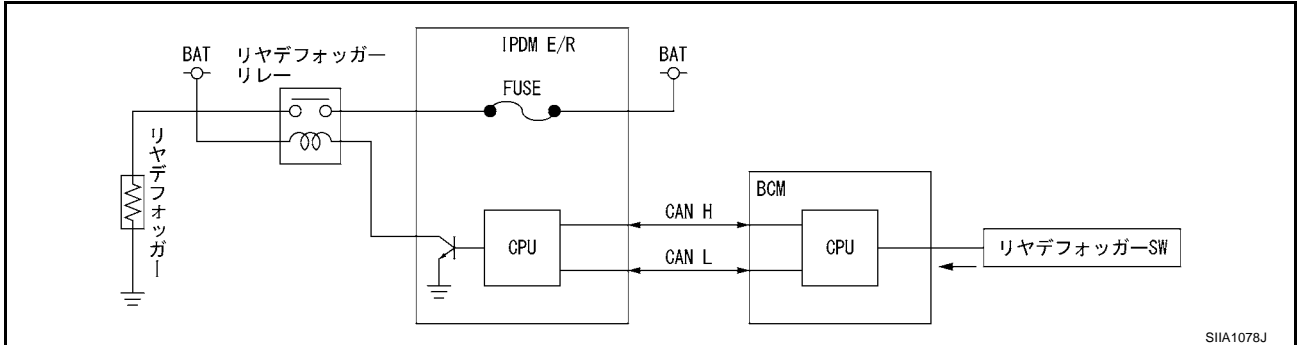
PF9:90300

システム概要

JIS00208

- キースイッチ ON 時、リヤデフォッガースイッチ OFF→ON 時点でリヤデフォッガースイッチ信号を IPDM E/R に約 15 分間出力し、リヤデフォッガーが作動する。
- タイマー機能作動中、リヤデフォッガースイッチを押すと OFF→ON 時点でリヤデフォッガースイッチ信号の出力を停止する。また、タイマー機能作動中、キースイッチを OFF にした場合も同様である。
- リヤデフォッガー作動時のタイマー制御は BCM で行われ、駆動制御はエンジンルーム内の IPDM E/R で行われる。
- CONSULT- による診断を可能とした。

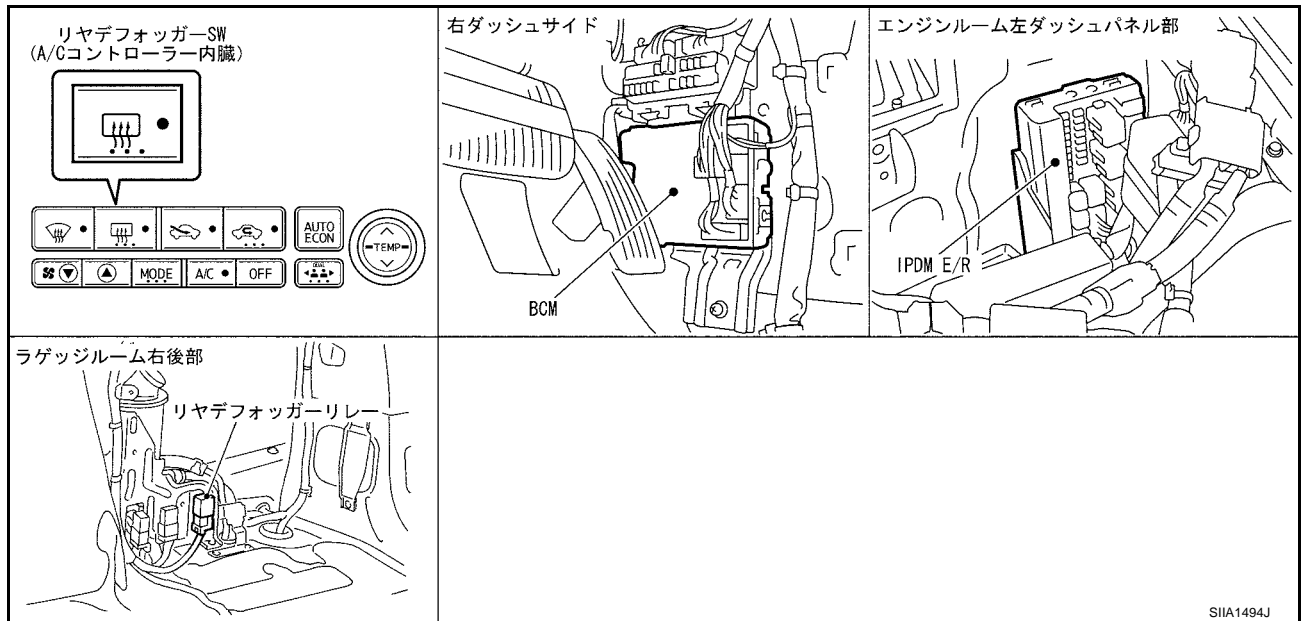
システム図



SIIA1078J

構成部品取付位置

JIS0020A



SIIA1494J

主な構成部品とその機能

JIS0020B

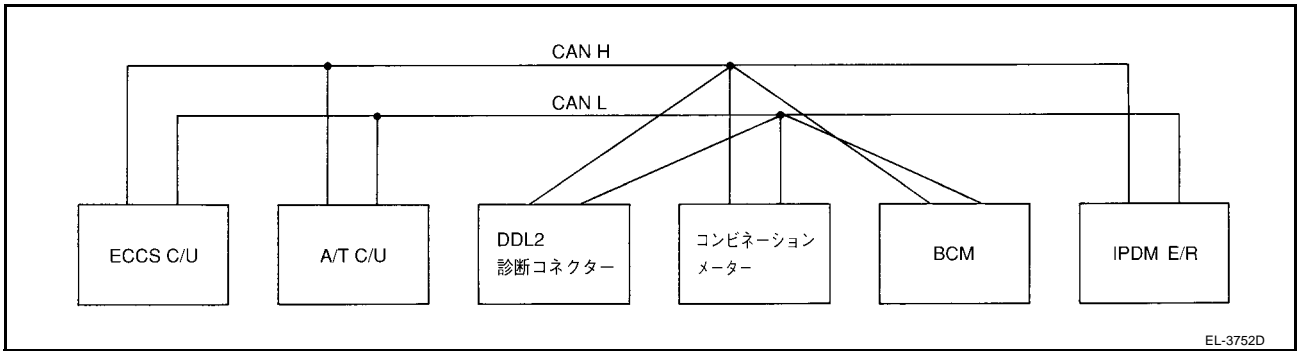
構成部品	機能
BCM	リヤデフォッガースイッチ ON によりリヤデフォッガースイッチ信号を IPDM E/R に送信し、リヤデフォッガー作動時のタイマー制御を行う。
IPDM E/R	BCM との CAN 通信によりリヤデフォッガーリレーを制御し、リヤデフォッガーを駆動する。

バックドアウインドーデフォッガー

CAN 通信信号一覧

JIS0037D

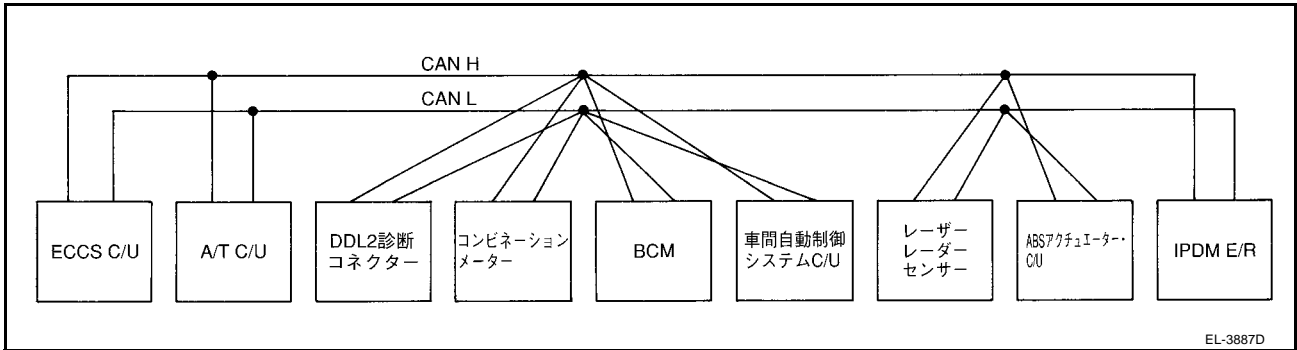
VQ25DD 車



: 送信 : 受信

主な信号名称 / 接続ユニット	ECCS C/U	A/T C/U	コンビネーションメーター	BCM	IPDM E/R
リヤデフォッガー SW 信号					
リヤデフォッガー ON 信号					

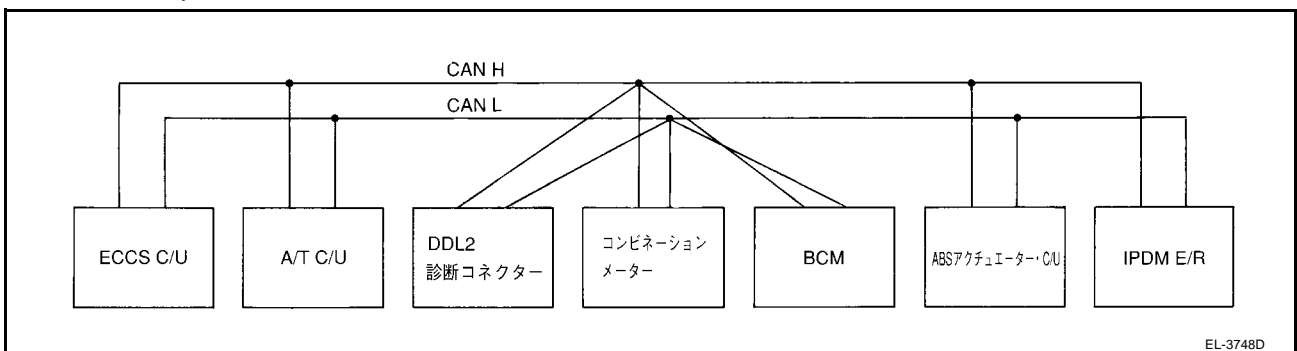
VQ25DD + 車間自動制御システム付車



: 送信 : 受信

主な信号名称 / 接続ユニット	ECCS C/U	A/T C/U	コンビネーションメーター	BCM	車間自動制御システムC/U	レーザーレーダーセンサー	ABS アクチュエーター・C/U	IPDM E/R
リヤデフォッガー SW 信号								
リヤデフォッガー ON 信号								

VQ30DD 車

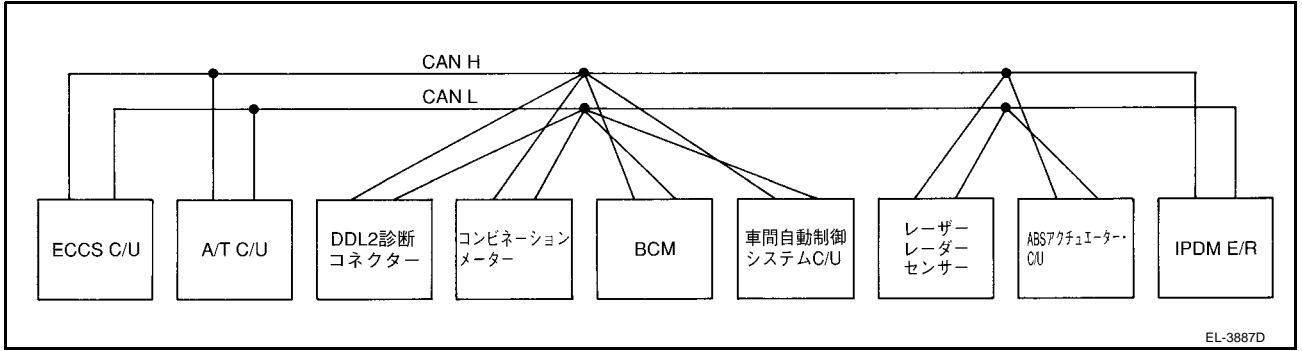


: 送信 : 受信

主な信号名称 / 接続ユニット	ECCS C/U	A/T C/U	コンビネーションメーター	BCM	ABS アクチュエーター・C/U	IPDM E/R
リヤデフォッガー SW 信号						
リヤデフォッガー ON 信号						

バックドアウインドーデフォッガー

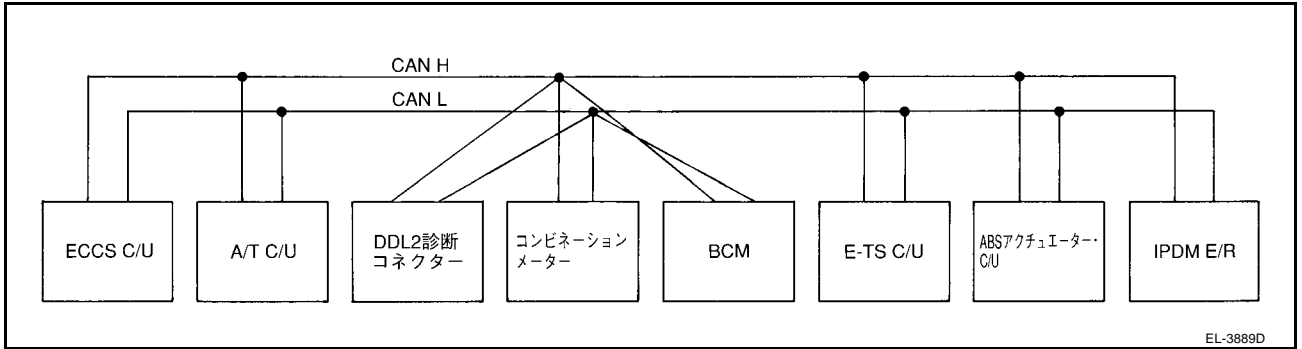
VQ30DD + 車間自動制御システム付車



: 送信 : 受信

主な信号名称 / 接続ユニット	ECCS C/U	A/T C/U	コンビネーションメーター	BCM	車間自動制御システムC/U	レーザーレーダーセンサー	ABSアクチュエーター・C/U	IPDM E/R
リヤデフォッガー SW 信号								
リヤデフォッガー ON 信号								

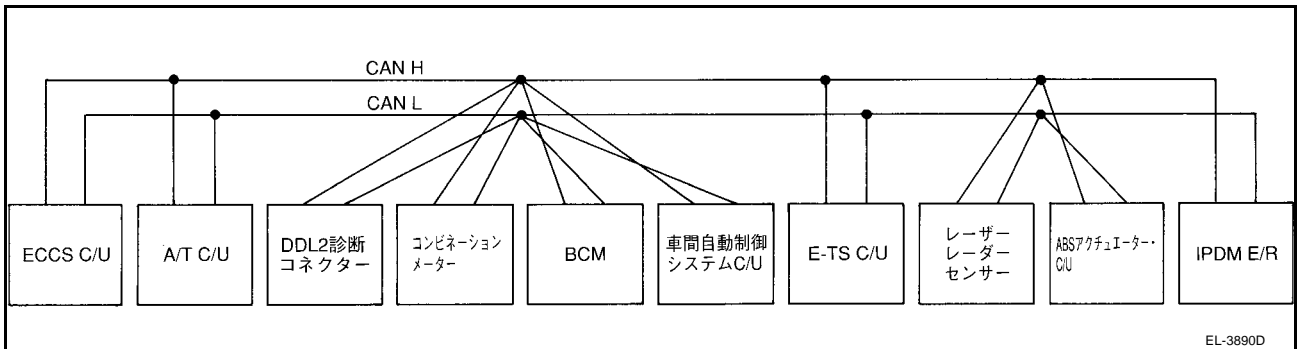
4WD 車



: 送信 : 受信

主な信号名称 / 接続ユニット	ECCS C/U	A/T C/U	コンビネーションメーター	BCM	E-TS C/U	ABSアクチュエーター・C/U	IPDM E/R
リヤデフォッガー SW 信号							
リヤデフォッガー ON 信号							

4WD + 車間自動制御システム付車



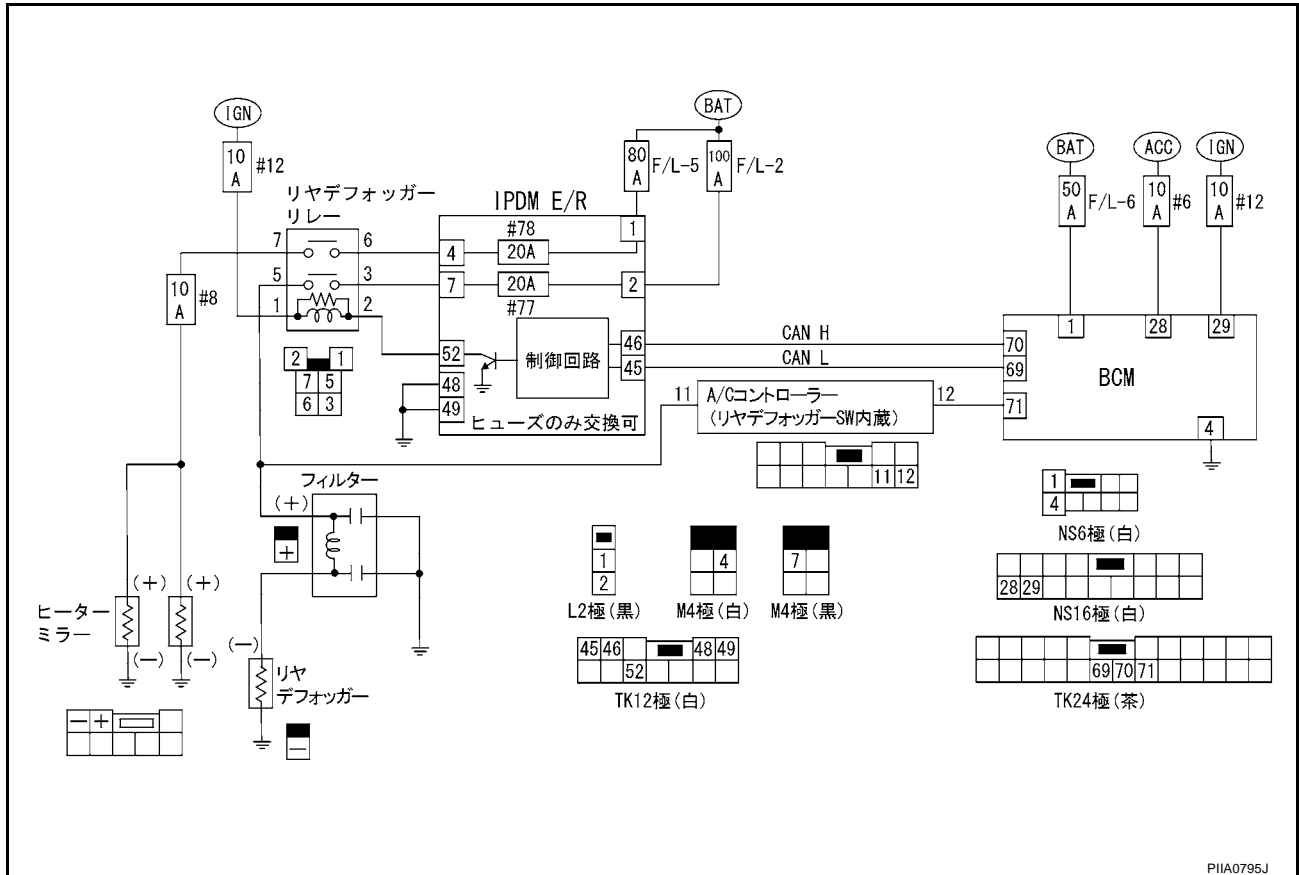
: 送信 : 受信

主な信号名称 / 接続ユニット	ECCS C/U	A/T C/U	コンビネーションメーター	BCM	車間自動制御システムC/U	E-TS C/U	レーザーレーダーセンサー	ABSアクチュエーター・C/U	IPDM E/R
リヤデフォッガー SW 信号									
リヤデフォッガー ON 信号									

バックドアウインドーデフォッガー

回路図

JIS0020C



PIIA0795J

BCM 入出力信号基準値

JIS0020D

端子番号	信号名称	測定条件		基準値	
		キーSW	操作		
1	BAT 電源	OFF	—	約 12V	
4	アース	ON	—	約 0V	
28	ACC 電源	ACC	—	約 12V	
29	IGN 電源	ON	—	約 12V	
69	CAN 通信信号 (L 線)	—	—	—	
70	CAN 通信信号 (H 線)	—	—	—	
71	リヤデフォッガー SW 信号	ON	リヤデフォッガー SW	ON (SW を押した状態)	約 0V
				OFF	約 5V

IPDM E/R 入出力信号基準値

JIS0020E

端子番号	信号名称	測定条件		基準値
		キーSW	操作	
1	BAT 電源	OFF	—	約 12V
2	BAT 電源	OFF	—	約 12V
4	ヒーターミラー電源	OFF	—	約 12V
7	リヤデフォッガー電源	OFF	—	約 12V
45	CAN 通信信号 (L 線)	—	—	—
46	CAN 通信信号 (H 線)	—	—	—

バックドアインローデフォッガー

端子番号	信号名称	測定条件		基準値	
		キーSW	操作		
48	アース	ON	—	約 0V	
49	アース	ON	—	約 0V	
52	リヤデフォッガーリレー制御信号	ON	リヤデフォッガー SW	ON	約 0V*
				OFF	約 12V

*：リヤデフォッガー出力時

故障診断の進め方

JIS0020F

- 故障現象又は、お客さまの要求を確認する。
- システム概要を把握する。「[システム概要](#)」(GW-15 ページ) を参照。
- 診断前点検を行う。「[診断前点検](#)」(GW-19 ページ) を参照。
- 故障診断から、不具合の原因を修理又は交換する。「[故障診断](#)」(GW-21 ページ) を参照。
- リヤデフォッガーが正常に作動するか？ 正常の場合は 6 へ。異常の場合は 4 へ。
- 終了。

診断前点検

JIS0020G

ヒューズ点検

1. 点検開始

- 下記の構成部品のヒューズに溶断がないか点検する。

構成部品	信号名称	ヒューズ番号
BCM	IGN 電源	#12
IPDM E/R	BAT 電源	#21
	BAT 電源	#77

注意： ヒューズ番号は「PG 電源・アース・回路構成部品」の「[ヒューズ及びヒューズプルリンク](#)」(PG-3 ページ) を参照。

点検結果は OK か？

- YES 終了。
NO ヒューズを交換する。

CONSULT- の機能

JIS0020H

- CONSULT- は BCM からの通信線によりデータの受信、指令の送信の組み合わせで自己診断、データモニタ、各部位別の作業サポート、データモニタ、アクティブテストの表示機能がある。

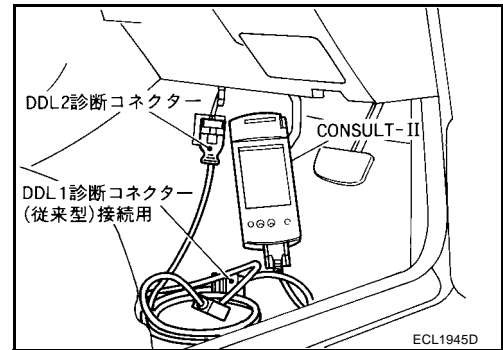
BCM 診断部位	点検項目、診断モード	内容	
BCM C/U*	自己診断結果	自己診断を行う。	
	データモニタ	CAN 診断サポートモニタ	CAN 通信のシステム診断、送信不能状態及び BCM と通信している各ユニットとの通信状態を表示する。
		項目メニュー選択	BCM への入力データをリアルタイムに表示する。
リヤデフォッガ	データモニタ	BCM へのリヤデフォッガー関連の入力データをリアルタイムに表示する。	
	アクティブテスト	負荷に駆動信号を与え負荷の作動点検ができる。	

バックドアウインドーデフォッガー

* : 詳細については「BCS ボディーコントロールシステム」の「CONSULT- II による CAN 通信点検 (自己診断)」(BCS-18 ページ) 参照。

CONSULT- II の基本操作

1. キースイッチ OFF 状態で CONSULT- II を車両側診断コネクタに接続し、キースイッチを ON にする。
2. [開始] をタッチする。



3. 「診断システム選択」画面で [BCM] をタッチする。



4. 「診断部位選択」画面で [リヤデフォッガ] をタッチする。
5. 「診断モード選択」画面で [データモニタ] 又は [アクティブテスト] を選択する。



データモニタ

操作要領

1. 「診断モード選択」画面で [データモニタ] をタッチする。
2. 「データモニタ」画面で [全項目] 又は [項目メニュー選択] をタッチする。

全項目	全項目をモニタする
項目メニュー選択	項目を選択しモニタする

3. [開始] をタッチする。
4. " 項目メニュー選択 " の場合は、必要とするモニタ項目をタッチする。" 全項目 " の場合は全項目がモニタされる。

バックドアウインドーデフォッガー

表示項目一覧

モニタ項目名 [操作]		内容
デフォッガー SW	[ON/OFF]	デフォッガー SW から判断した「押す (ON) / それ以外 (OFF)」状態を表示。
IGN SW	[ON/OFF]	キー SW 信号から判断した「IGN 状態 (ON) / OFF、ACC (OFF)」状態を表示。

アクティブテスト

操作要領

1. 「診断モード選択」画面で [アクティブテスト] をタッチする。
2. テストする項目をタッチし、作動を確認する。
3. 作動確認中、[停止] をタッチすると作動を停止する。

表示項目一覧

テスト項目	内容
リヤデフ	リヤデフォッガースイッチ ON 制御により、リヤデフォッガーリレーに駆動信号を与え、リヤデフォッガーを作動させる。

故障診断

JIS00201

リヤデフォッガーが正常に作動しない

1. BCM 自己診断

CONSULT-

- 診断部位選択画面で“BCM C/U”を選択し、“自己診断結果”を選択する。
- 自己診断結果で表示されている内容を確認する。

CONSULT- 表示コード	診断項目
U1000	CAN 通信
	CAN 系統 1
	CAN 系統 2
	CAN 系統 3
	CAN 系統 4
	CAN 系統 6

表示されている内容は？

異常なし 3へ

CAN 通信または CAN 系統 2へ

診断系統異常 [「自己診断結果によるコンビネーションスイッチ点検」\(BCS-19 ページ\)](#)へ

バックドアウインドーデフォッガー

2. 不具合系統確認

CONSULT-

- データモニタの“CAN 診断サポートモニタ”を選択する。
- “開始”を選択し、表示内容を確認する。

診断項目	データモニタ表示内容	
	正常時	異常時 (例)
CAN 通信	OK	OK
CAN 系統 1	OK	UNKWN
CAN 系統 2	OK	UNKWN
CAN 系統 3	OK	UNKWN
CAN 系統 4	OK	UNKWN
CAN 系統 6	OK	UNKWN

モニタ項目をプリントアウト後、[「CAN 通信接続ユニット」\(LAN-4 ページ\)](#)へ

3. アクティブテストによるリヤデフォッガー作動点検

CONSULT-

- CONSULT- のアクティブテストでリヤデフォッガーの作動を点検する。[「アクティブテスト」\(GW-21 ページ\)](#)参照。
 - リヤデフォッガーは作動するか？

点検結果は OK か？

- YES 4へ
- NO 6へ

4. データモニタによるリヤデフォッガー SW 点検

CONSULT-

- CONSULT- のデータモニタでリヤデフォッガー SW の作動を点検する。[「データモニタ」\(GW-20 ページ\)](#)参照。
 - リヤデフォッガースイッチは正常に作動するか？

点検結果は OK か？

- YES BCM を交換する。
- NO 5へ

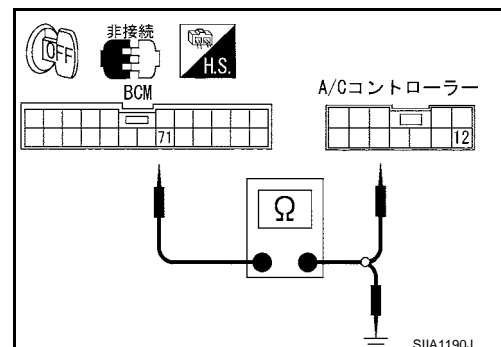
5. リヤデフォッガー SW 信号ハーネス点検

BCM の車両側コネクタ 71 番端子 ~ A/C コントローラー (リヤデフォッガー SW) の車両側コネクタ 12 番端子間及びボディーアース間のハーネスの導通を点検する。

- 71 ~ 12 : 導通あり
- 71 ~ ボディーアース : 導通なし

点検結果は OK か？

- YES リヤデフォッガー SW を交換する。
- NO BCM ~ A/C コントローラー間ハーネスを交換する。



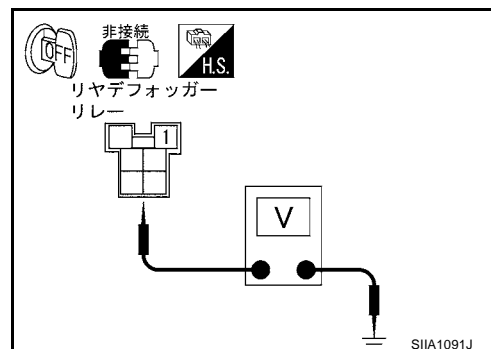
6. リヤデフォッガーリレー電源回路点検

- キースイッチ OFF にする。
- リヤデフォッガーリレーの 1 番端子～ボディーアース間の電圧を点検する。

1～ボディーアース : 約 12(V)

点検結果は OK か？

- YES 7へ
NO リヤデフォッガーリレー電源ハーネスを交換する。



7. リヤデフォッガーリレー点検

- リヤデフォッガーリレーを取り外す。
- 1. リヤデフォッガーリレーの3番端子～5番端子間の導通を点検する。

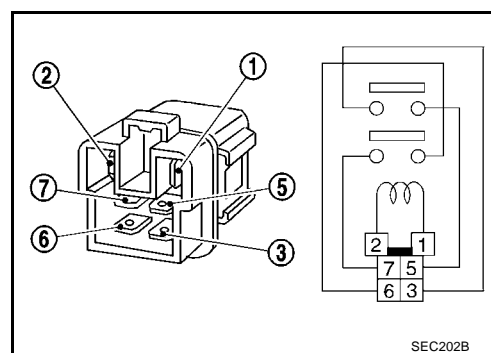
3～5 : 導通なし

2. リヤデフォッガーリレーの 1 番端子～ 2 番端子間に 12V の電圧を加えたとき、下記端子間に作動音があることを点検する。

3～5 : 作動音あり

点検結果は OK か？

- YES 8へ
NO リヤデフォッガーリレーを交換する。



8. リヤデフォッガー（熱線）点検

- キー SW を OFF にする。
- リヤウインドーガラスの熱線の導通を点検し、熱線に断線がないことを確認する。

点検結果は OK か？

- YES 9へ
NO 熱線を修理する。

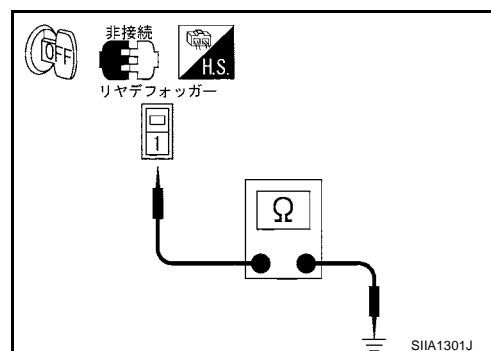
9. リヤデフォッガーアースハーネス点検

リヤデフォッガーのマイナス端子（リヤウインドーガラス左側中央部）～ボディーアース間の導通を点検する。

1(-)～ボディーアース : 導通あり

点検結果は OK か？

- YES 10へ
NO リヤデフォッガーのアースハーネスを交換する。



10. リヤデフォッガー出力ハーネス点検

リヤデフォッガーリレーの5番端子～リヤデフォッガーのプラス端子（リヤウインドーガラス右側中央部）間及びボディーアース間のハーネスの導通を点検する。

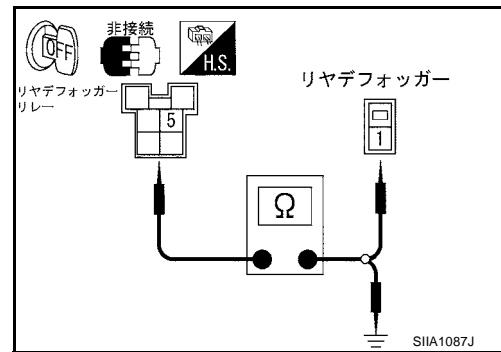
5～1(+) : 導通あり

5～ボディーアース : 導通なし

点検結果はOKか？

YES 11へ

NO リヤデフォッガーリレー～リヤデフォッガー間ハーネスを交換する。



11. リヤデフォッガー制御ハーネス点検

- IPDM E/Rのコネクター7、52番端子～リヤデフォッガーリレーのコネクター2、3番端子間及びボディーアース間のハーネスの導通を点検する。

参考：IPDM E/R 端子の点検については、「PG 電源・アース・回路構成部品」の「[IPDM E/R 端子点検方法](#)」(PG-16 ページ)参照。

7～3 : 導通あり

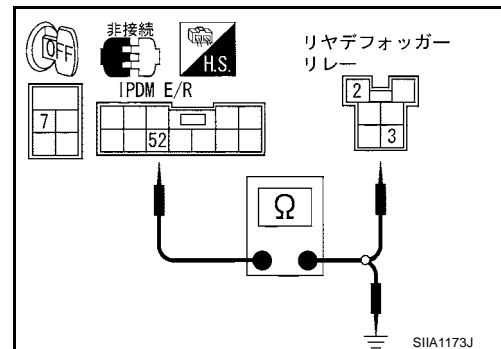
52～2 : 導通あり

7、52～ボディーアース : 導通なし

点検結果はOKか？

YES IPDM E/R を交換する。

NO IPDM E/R～リヤデフォッガーリレー間ハーネスを交換する。



パワーウィンドーシステム

システム概要

PF25401

JIS0020J

タイマー機能

- タイマー機能によりキースイッチ OFF 後 (ON 以外) 約 15 分間運転席パワーウィンドーの操作が可能。ただし、運転席ドア開 (ドアスイッチ ON) → 閉 (ドアスイッチ OFF) 又は、キースイッチ OFF → ON の信号が入力されるとタイマーはリセットされる。

運転席挟み込み防止機能

- 運転席パワーウィンドー上昇作動時、異物等の挟み込みを検出したとき、パワーウィンドーが約 150mm 反転下降作動する。

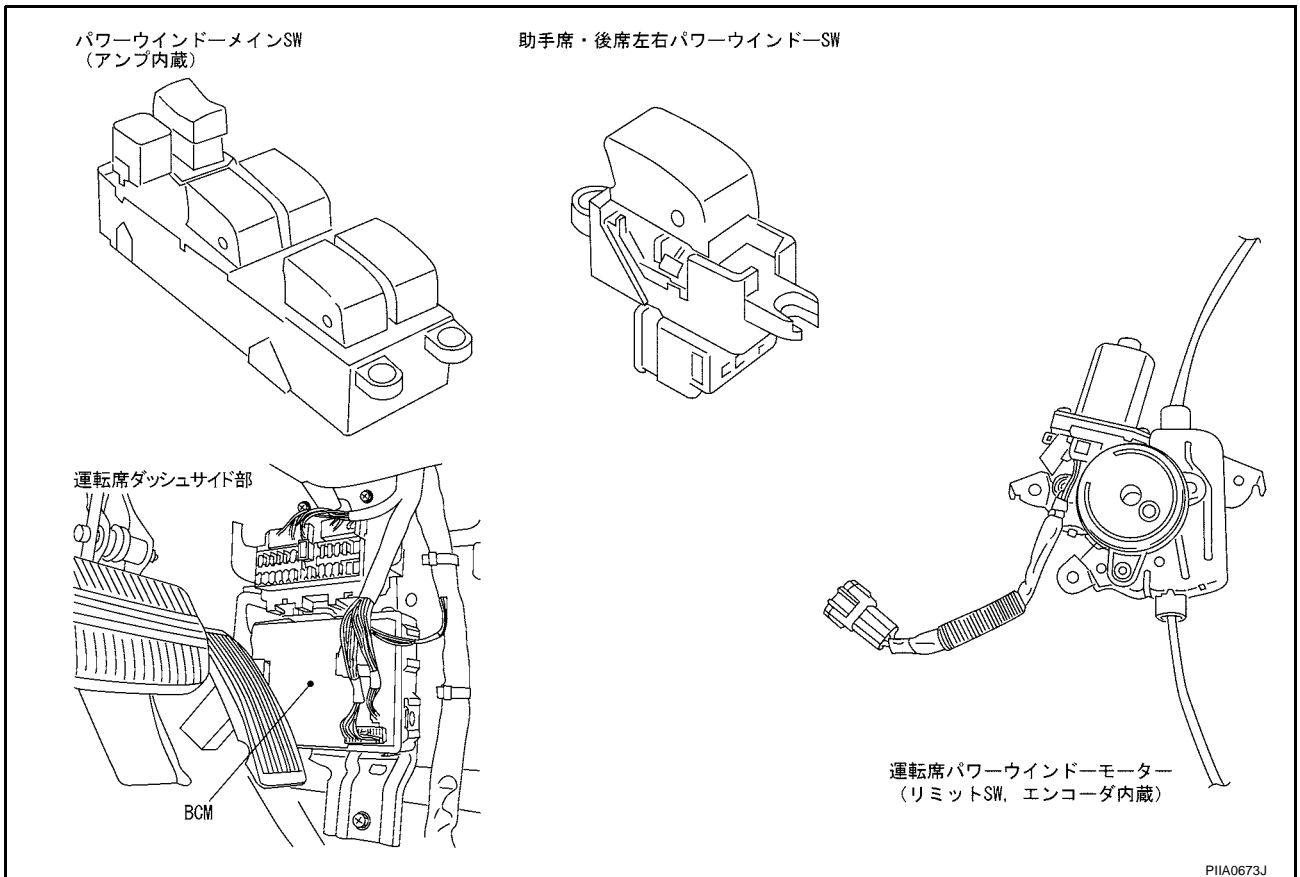
注意： 環境や走行条件により、異物を挟み込んだときと同じ衝撃や荷重がパワーウィンドーに加わると、反転作動することがある。

作動条件

- 運転席ドアガラス全開 ~ 全閉直前位置 (リミットスイッチ ON 時)
- キースイッチ ON 時のオート作動時
- キースイッチ ON 以外 (タイマー作動時) のオート及びマニュアル作動時

構成部品取付位置

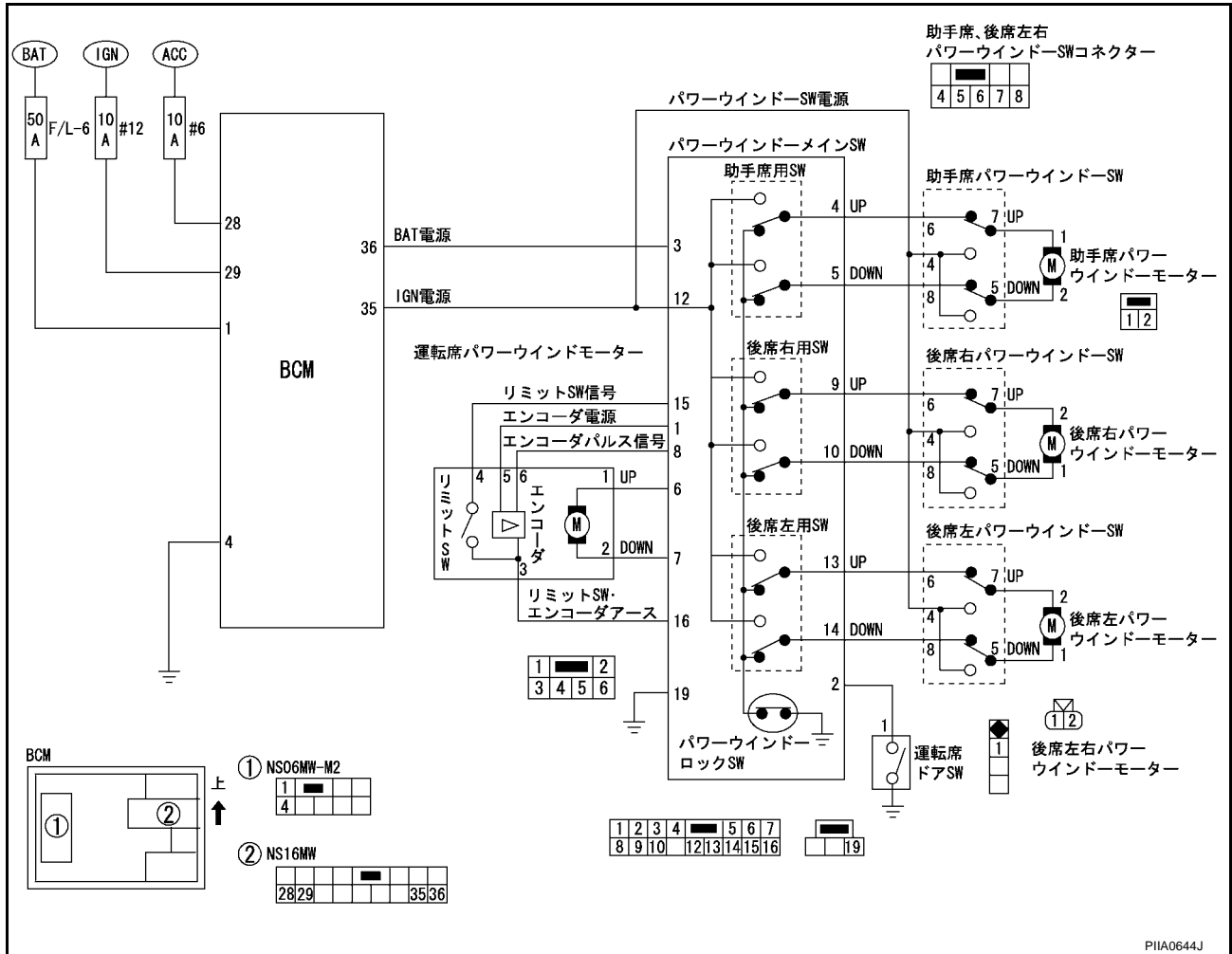
JIS0020K



パワーウィンドーシステム

回路図

JIS0020L



パワーウィンドーメインスイッチ入出力信号基準値

JIS0020M

端子番号	信号名称	測定条件		基準値 (V)	
		キー SW	操作又は条件		
1	エンコーダ電源	ON 又は ON 以外 (タイマー作動時)	—	約 10	
2	運転席ドア SW 信号	—	運転席ドア開 (ON)	約 0	
			運転席ドア閉 (OFF)	約 12	
3	BAT 電源	—	—	約 12	
4	助手席パワーウィンドー UP 信号	ON	パワーウィンドー ロック SW OFF 操作時 (SW ON)	メイン SW 助手席用 SW UP 操作時 (モーター作動)	約 12
				メイン SW 助手席用 SW DOWN 操作時 (モーター作動)	約 0
			パワーウィンドー ロック SW ON 操作時 (SW OFF)	メイン SW 助手席用 SW UP 操作時 (モーター非作動)	約 12
				メイン SW 助手席用 SW DOWN 操作時 (モーター非作動)	約 12
		上記以外		約 0	

パワーウィンドーシステム

端子番号	信号名称	測定条件		基準値 (V)	
		キー SW	操作又は条件		
5	助手席パワーウィンドー DOWN 信号	ON	パワーウィンドーロック SW OFF 操作時 (SW ON)	メイン SW 助手席用 SW DOWN 操作時 (モーター作動)	約 12
				メイン SW 助手席用 SW UP 操作時 (モーター作動)	約 0
			パワーウィンドーロック SW ON 操作時 (SW OFF)	メイン SW 助手席用 SW DOWN 操作時 (モーター非作動)	約 12
				メイン SW 助手席用 SW UP 操作時 (モーター非作動)	約 12
			上記以外	約 0	
6	運転席パワーウィンドーモーター UP 信号	ON 又は ON 以外 (タイマー作動時)	UP 作動時	約 12	
			上記以外	約 0	
7	運転席パワーウィンドーモーター DOWN 信号	ON 又は ON 以外 (タイマー作動時)	DOWN 作動時	約 12	
			上記以外	約 0	
8	エンコーダパルス信号	ON 又は ON 以外 (タイマー作動時)	パワーウィンドーモーター作動時	<p style="text-align: center;">約 2.5</p>  <p style="text-align: right; font-size: small;">OCC3383D</p>	
9	後席右パワーウィンドー UP 信号	ON	パワーウィンドーロック SW OFF 操作時 (SW ON)	メイン SW 後席右用 SW UP 操作時 (モーター作動)	約 12
				メイン SW 後席右用 SW DOWN 操作時 (モーター作動)	約 0
			パワーウィンドーロック SW ON 操作時 (SW OFF)	メイン SW 後席右用 SW UP 操作時 (モーター非作動)	約 12
				メイン SW 後席右用 SW DOWN 操作時 (モーター非作動)	約 12
			上記以外	約 0	
10	後席右パワーウィンドー DOWN 信号	ON	パワーウィンドーロック SW OFF 操作時 (SW ON)	メイン SW 後席右用 SW DOWN 操作時 (モーター作動)	約 12
				メイン SW 後席右用 SW UP 操作時 (モーター作動)	約 0
			パワーウィンドーロック SW ON 操作時 (SW OFF)	メイン SW 後席右用 SW DOWN 操作時 (モーター非作動)	約 12
				メイン SW 後席右用 SW UP 操作時 (モーター非作動)	約 12
			上記以外	約 0	

A
B
C
D
E
F
G
H
GW
J
K
L

パワーウィンドーシステム

端子番号	信号名称	測定条件		基準値 (V)	
		キー SW	操作又は条件		
12	助手席、後席左右 パワーウィンドー SW 用電源	ON	—	約 12	
13	後席左パワーウ ィンドー UP 信号	ON	パワーウィンドー ロック SW OFF 操作時 (SW ON)	メイン SW 後席左用 SW UP 操作時 (モーター作動)	約 12
				メイン SW 後席左用 SW DOWN 操作時 (モーター作動)	約 0
			パワーウィンドー ロック SW ON 操作時 (SW OFF)	メイン SW 後席左用 SW UP 操作時 (モーター非作動)	約 12
				メイン SW 後席左用 SW DOWN 操作時 (モーター非作動)	約 12
			上記以外	約 0	
14	後席左パワーウ ィンドー DOWN 信 号	ON	パワーウィンドー ロック SW OFF 操作時 (SW ON)	メイン SW 後席左用 SW DOWN 操作時 (モーター作動)	約 12
				メイン SW 後席左用 SW UP 操作時 (モーター作動)	約 0
			パワーウィンドー ロック SW ON 操作時 (SW OFF)	メイン SW 後席左用 SW DOWN 操作時 (モーター非作動)	約 12
				メイン SW 後席左用 SW UP 操作時 (モーター非作動)	約 12
			上記以外	約 0	
15	リミット SW 信号	ON 又は ON 以外 (タイマー作動時)	運転席ドアガラス全開 ～全閉直前位置 (ON)	約 0	
			運転席ドアガラス全閉 直前位置～全閉位置 (OFF)	約 5	
16	リミット SW・ エンコーダアース	ON 又は ON 以外 (タイマー作動時)	—	約 0	
19	アース	—	—	約 0	

BCM 入出力信号基準値

JIS0020N

端子番号	信号名称	測定条件		基準値 (V)
		キー SW	操作又は条件	
1	BAT 電源	OFF	—	約 12
4	アース	ON	—	約 0
28	ACC 電源	ACC	—	約 12
29	IGN 電源	ON	—	約 12
35	パワーウィンドー電源 (IGN)	ON	—	約 12
36	パワーウィンドー電源 (BAT)	OFF	—	約 12

故障診断の進め方

JIS0020O

- 故障現象又は、お客さまの要求を確認する。

パワーウィンドーシステム

2. システム概要を把握する。「[システム概要](#)」(BL-23 ページ) 参照。
3. 診断前点検を行う。「[診断前点検](#)」(BL-32 ページ) 参照。
4. 現象別故障診断表から、不具合の原因を修理又は交換する。「[現象別故障診断表](#)」(BL-35 ページ) 参照。
5. 終了。

診断前点検

JIS0020P

BCM ヒューズ点検

1. ヒューズ点検

- BCM の下記ヒューズに溶断がないか点検する。

ユニット	端子番号	信号名称	ヒューズ番号
BCM	1	バッテリー電源	F/L-6
	28	ACC 電源	#6
	29	IGN 電源	#12

点検結果は OK か？

- OK 正常
 NG ヒューズを交換する。

現象別故障診断早見表

JIS0020Q

- 下記系統の信号を使用している他のシステムが正常に作動するか点検する

現象	不具合系統
パワーウィンドーメイン SW 操作時、全席パワーウィンドーが作動しない	パワーウィンドーメイン SW 電源及びアース回路系統「 パワーウィンドーメインスイッチ電源及びアース回路系統 」(GW-30 ページ)
運転席パワーウィンドーが作動しない	運転席パワーウィンドーモーター系統「 運転席パワーウィンドーモーター系統 」(GW-31 ページ)
パワーウィンドーメイン SW 操作時、助手席及び後席左右パワーウィンドーが作動しない	パワーウィンドーメイン SW 電源 (IGN) 系統
パワーウィンドーメイン SW 操作時、助手席又は後席左右パワーウィンドーいずれかが作動しない (各席パワーウィンドー SW 操作では作動する)	パワーウィンドーメイン SW 系統「 パワーウィンドーメインスイッチ電源 (IGN) 系統 」(GW-32 ページ)
助手席、後席左右パワーウィンドーいずれかが作動しない (パワーウィンドーメイン SW 操作では作動する)	各席 (助手席、後席左右) パワーウィンドー SW 系統「 各席 (助手席、後席左右) パワーウィンドースイッチ電源系統 」(GW-34 ページ)
キー SW ON 時のオート作動及びタイマー機能作動時、運転席ドアガラス上昇作動しない	リミット SW 系統「 リミットスイッチ系統 」(GW-35 ページ)
運転席ドア開閉操作でタイマー機能が停止しない	運転席ドア SW 系統「 運転席ドアスイッチ系統 」(GW-36 ページ)
運転席ドアガラス異物挟み込み時、反転作動しない	リミット SW 系統「 リミットスイッチ系統 」(GW-35 ページ)
運転席ドアガラスオート上昇作動時、全閉付近で反転作動する	<ul style="list-style-type: none"> • リミット SW 系統「リミットスイッチ系統」(GW-35 ページ) • ドアガラスしゅう動不良 <ul style="list-style-type: none"> - ガラス、ガラスランラバー等に異物附着 - ガラスランラバーの摩耗、変形 - サッシュの倒れ込み過ぎ又は、起こし過ぎ

パワーウィンドーシステム

現象	不具合系統
運転席ドアガラスオート上昇作動時、作動開始後すぐに反転作動する	<ul style="list-style-type: none"> エンコーダ系統「エンコーダ系統」(GW-37 ページ) ドアガラスしゅう動不良 <ul style="list-style-type: none"> - ガラス、グラスランラバー等に異物付着 - グラスランラバーの摩耗、変形 - サッシの倒れ込み過ぎ又は、起こし過ぎ
運転席ドアガラスオート上昇作動時、上記以外の位置で反転作動する	<ul style="list-style-type: none"> パワーウィンドーメイン SW 不良 ドアガラスしゅう動不良 <ul style="list-style-type: none"> - ガラス、グラスランラバー等に異物付着 - グラスランラバーの摩耗、変形 - サッシの倒れ込み過ぎ又は、起こし過ぎ

パワーウィンドーメインスイッチ電源及びアース回路系統

JIS0020R

点検要領

1. パワーウィンドーメイン SW 電源回路点検

- パワーウィンドーメイン SW コネクターを外す。
- キー SW を ON にする。
- パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクター 3、12 番端子 ~ ボディーアース間の電圧を点検する。

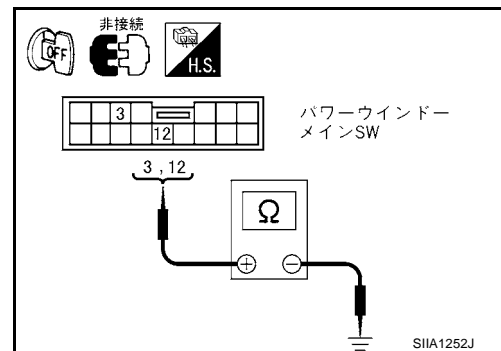
3 ~ ボディーアース : 約 12V

12 ~ ボディーアース : 約 12V

点検結果は OK か？

OK 2 へ

NG 3 へ



2. パワーウィンドーメイン SW アース回路点検

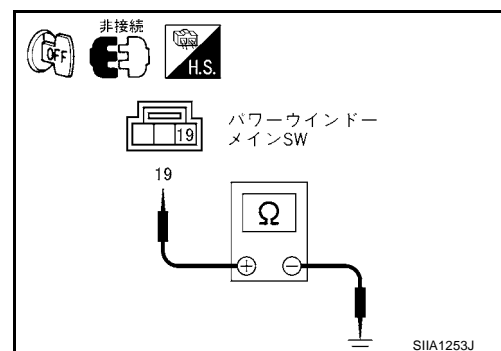
パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクター 19 番端子 ~ ボディーアース間のハーネス導通点検を行う。

19 ~ ボディーアース : 導通あり

点検結果は OK か？

OK パワーウィンドーメイン SW 不良

NG アース回路ハーネスの断線、ショートが無い点検する。



3. パワーウィンドーメイン SW 回路点検

1. パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクター 3、12 番端子 ~ BCM 車両側コネクター 35、36 番端子間のハーネス導通点検を行う。

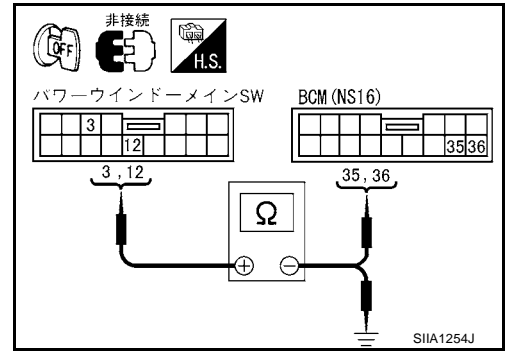
3 ~ 36 : 導通あり
 12 ~ 35 : 導通あり

2. パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクター 3、12 番端子 ~ ボディーアース間の導通点検を行う。

3 ~ ボディーアース : 導通なし
 12 ~ ボディーアース : 導通なし

点検結果は OK か？

OK BCM 不良
 NG パワーウィンドーメイン SW ~ BCM 間ハーネス不良



運転席パワーウィンドーモーター系統

JIS0020S

点検要領

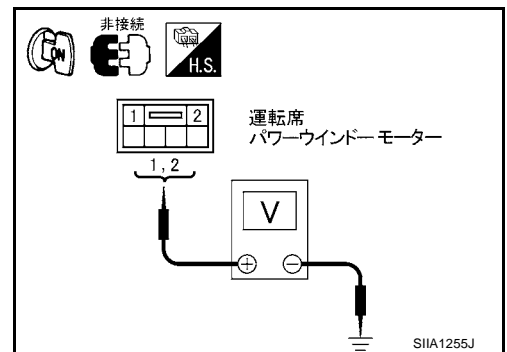
1. パワーウィンドーメイン SW 入出力信号点検

- 運転席パワーウィンドーモーターのコネクターを外す。
- キー SW を ON にする。
- パワーウィンドーメイン SW を操作し、運転席パワーウィンドーモーター 1、2 番端子 ~ ボディーアース間の電圧を点検する。

パワーウィンドー SW : UP 操作	
1 ~ ボディーアース	: 約 12V
2 ~ ボディーアース	: 約 0V
パワーウィンドー SW : DOWN 操作	
1 ~ ボディーアース	: 約 0V
2 ~ ボディーアース	: 約 12V

点検結果は OK か？

OK 運転席パワーウィンドーモーター不良
 NG 2 へ



A
B
C
D
E
F
G
H
GW
J
K
L

パワーウィンドーシステム

2. 運転席パワーウィンドーモーター回路点検

1. キー SW を OFF にする。
2. パワーウィンドーメイン SW のコネクターを外す。
3. 運転席パワーウィンドーモーター車両側コネクター1,2 番端子～パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクター 6, 7 番端子間のハーネス導通点検を行う。

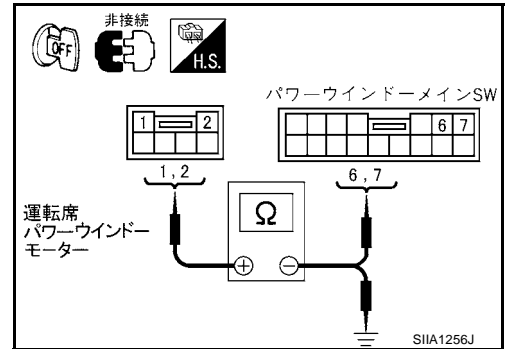
1 ~ 6 : 導通あり
2 ~ 7 : 導通あり

4. 運転席パワーウィンドーモーター車両側コネクター 1, 2 番端子～ボディーアース間のハーネス導通点検を行う。

1 ~ ボディーアース : 導通なし
2 ~ ボディーアース : 導通なし

点検結果は OK か？

- OK パワーウィンドーメイン SW 不良
NG 運転席パワーウィンドーモーター～パワーウィンドーメイン SW 間ハーネス不良



パワーウィンドーメインスイッチ電源 (IGN) 系統

JIS0020T

点検要領

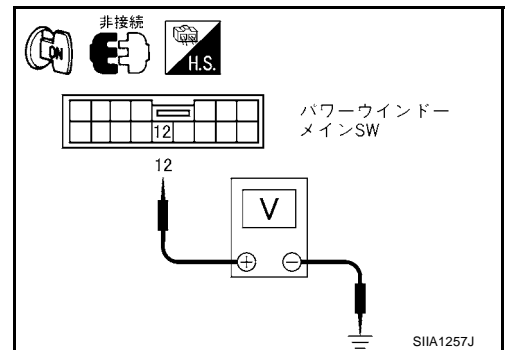
1. パワーウィンドーメイン SW 電源 (IGN) 点検

- パワーウィンドーメイン SW コネクターを外す。
- キー SW を ON にする。
- パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクター 12 番端子～ボディーアース間の電圧を点検する。

12 ~ ボディーアース : 約 12V

点検結果は OK か？

- OK パワーウィンドーメイン SW 不良
NG 2 へ



2. パワーウィンドーメイン SW 回路点検

1. パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクタ-12 番端子 ~ BCM 車両側コネクタ-35 番端子間のハーネス導通点検を行う。

12 ~ 35 : 導通あり

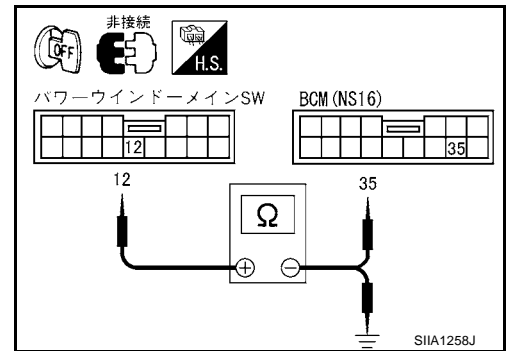
2. パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクタ-12 番端子 ~ ボディーアース間の導通点検を行う。

12 ~ ボディーアース : 導通なし

点検結果は OK か？

OK BCM 不良

NG パワーウィンドーメイン SW ~ BCM 間ハーネス不良



助手席パワーウィンドースイッチ回路系統

JIS0020U

点検要領

1. パワーウィンドーメイン SW 信号点検

- キー SW を ON にする。
- パワーウィンドーメイン SW コネクタ-4、5 番端子 ~ ボディーアース間の電圧を点検する。

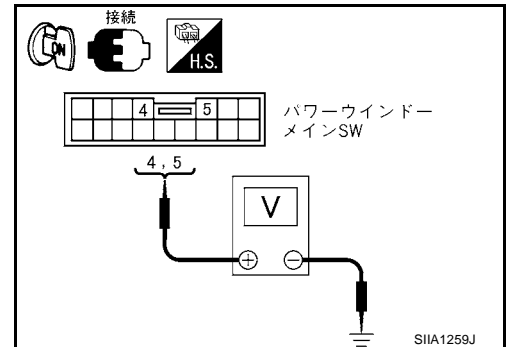
パワーウィンドーメイン SW 助手席用 SW

UP 操作	4 ~ ボディーアース	: 約 12V
DOWN 操作	5 ~ ボディーアース	: 約 12V

点検結果は OK か？

OK パワーウィンドーメイン SW ~ 助手席パワーウィンドー SW 間ハーネスの断線、ショートが無い点検する。

NG パワーウィンドーメイン SW 不良



後席右パワーウィンドースイッチ回路系統

JIS0020V

点検要領

1. パワーウィンドーメイン SW 信号点検

- キー SW を ON にする。
- パワーウィンドーメイン SW コネクタ-9、10 番端子 ~ ボディーアース間の電圧を点検する。

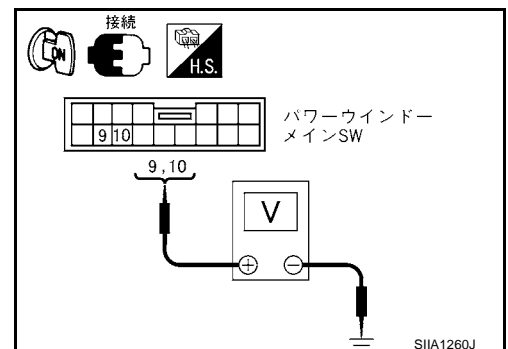
パワーウィンドーメイン SW 助手席用 SW

UP 操作	9 ~ ボディーアース	: 約 12V
DOWN 操作	10 ~ ボディーアース	: 約 12V

点検結果は OK か？

OK パワーウィンドーメイン SW ~ 後席右パワーウィンドー SW 間ハーネスの断線、ショートが無い点検する。

NG パワーウィンドーメイン SW 不良



GW

後席左パワーウィンドースイッチ回路系統

JIS0020W

点検要領

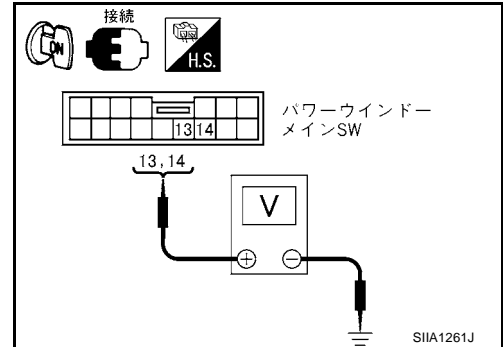
1. パワーウィンドーメイン SW 信号点検

- キー SW を ON にする。
- パワーウィンドーメイン SW コネクター 13、14 番端子 ~ ボディーアース間の電圧を点検する。

パワーウィンドーメイン SW 助手席用 SW		
UP 操作	13 ~ ボディーアース	: 約 12V
DOWN 操作	14 ~ ボディーアース	: 約 12V

点検結果は OK か？

- OK パワーウィンドーメイン SW ~ 後席左パワーウィンドー SW 間ハーネスの断線、ショートが無い点検する。
- NG パワーウィンドーメイン SW 不良



各席（助手席、後席左右）パワーウィンドースイッチ電源系統

JIS0020X

点検要領

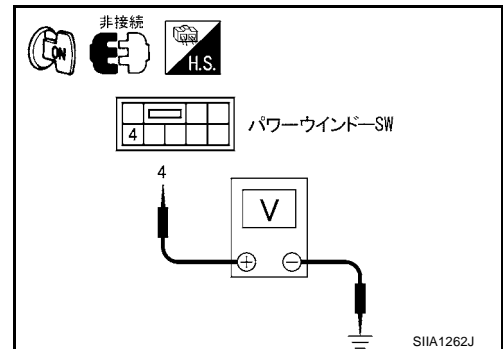
1. パワーウィンドー SW 電源回路点検

1. パワーウィンドー SW コネクターを外す。
2. キー SW を ON にする。
3. パワーウィンドー SW 車両側コネクター 4 番端子 ~ ボディーアース間の電圧点検を行う。

4 ~ ボディーアース : 約 12V

点検結果は OK か？

- OK パワーウィンドー SW 不良
- NG パワーウィンドー SW ~ BCM 間ハーネスの断線、ショートが無い点検する。



リミットスイッチ系統

JIS0020Y

点検要領

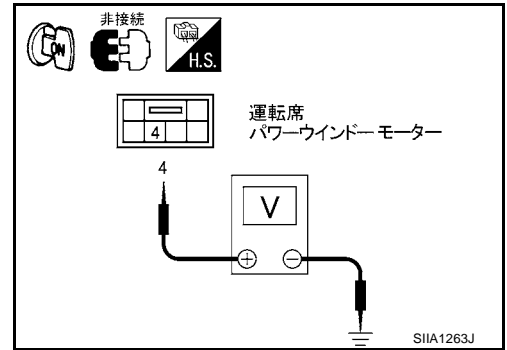
1. リミット SW 信号点検

1. 運転席パワーウィンドーモーターのコネクターを外す。
2. キー SW を ON にする。
3. 運転席パワーウィンドーモーター車両側コネクター 4 番端子 ~ ボディーアース間の電圧を点検する。

4 ~ ボディーアース : 約 5V

点検結果は OK か？

OK	3 へ
NG	2 へ



2. リミット SW 信号回路点検

1. パワーウィンドーメイン SW のコネクターを外す。
2. 運転席パワーウィンドーモーター車両側コネクター 4 番端子 ~ パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクター 15 番端子間のハーネス導通点検を行う。

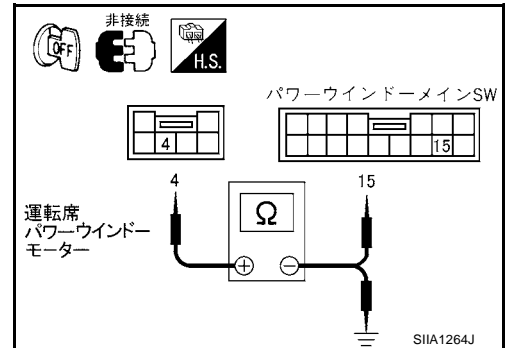
4 ~ 15 : 導通あり

3. 運転席パワーウィンドーモーター車両側コネクター 4 番端子 ~ ボディーアース間のハーネス導通点検を行う。

4 ~ ボディーアース : 導通あり

点検結果は OK か？

OK	パワーウィンドーメイン SW 不良
NG	運転席パワーウィンドーモーター ~ パワーウィンドーメイン SW 間ハーネス不良



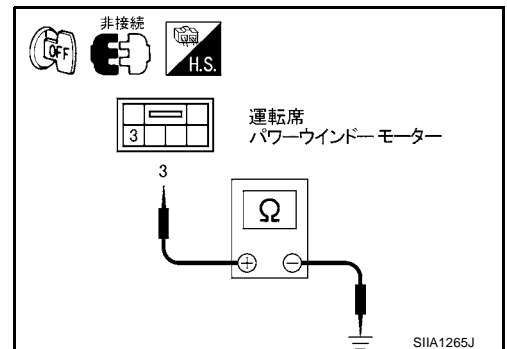
3. リミット SW アース点検

- 運転席パワーウィンドーモーター車両側コネクター 3 番端子 ~ ボディーアース間のハーネス導通点検を行う。

3 ~ ボディーアース : 導通あり

点検結果は OK か？

OK	運転席パワーウィンドーモーター(リミット SW)不良
NG	4 へ



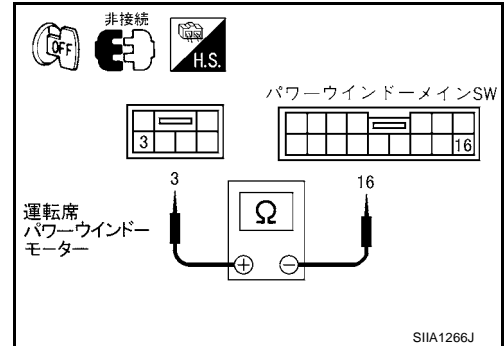
4. リミット SW アース回路点検

1. パワーウィンドーメイン SW コネクターを外す。
2. 運転席パワーウィンドーモーター車両側コネクター 3 番端子～パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクター 16 番端子間のハーネス導通点検を行う。

3 ~ 16 : 導通あり

点検結果は OK か？

- | | |
|----|--|
| OK | パワーウィンドーメイン SW 不良 |
| NG | 運転席パワーウィンドーモーター～パワーウィンドーメイン SW 間ハーネス不良 |



運転席ドアスイッチ系統

JIS0020Z

点検要領

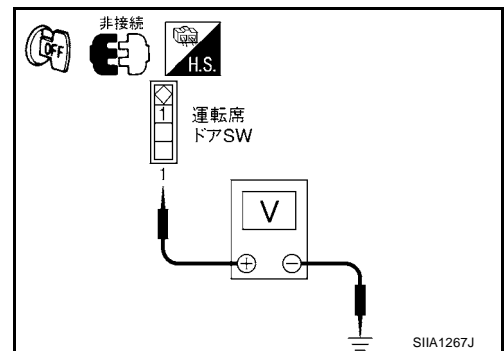
1. 運転席ドア SW 信号点検

1. 運転席ドア SW のコネクターを外す。
2. 運転席ドア SW 車両側ハーネスコネクター 1 番端子～ボディーアース間の電圧点検を行う。

1 ~ ボディーアース : 約 12V

点検結果は OK か？

- | | |
|----|-----|
| OK | 3 へ |
| NG | 2 へ |



2. 運転席ドア SW 回路点検

1. パワーウィンドーメイン SW のコネクターを外す。
2. 運転席ドア SW 車両側コネクター 1 番端子～パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクター 2 番端子間のハーネス導通点検を行う。

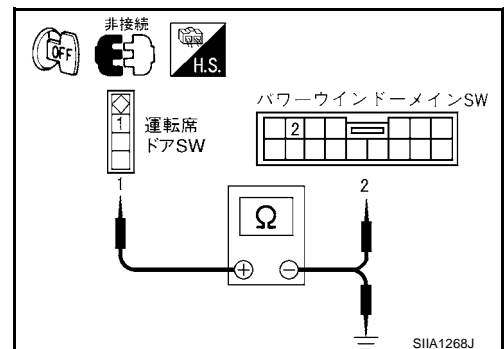
1 ~ 2 : 導通あり

3. 運転席ドア SW 車両側コネクター 1 番端子～ボディーアース間のハーネス導通点検を行う。

1 ~ ボディーアース : 導通なし

点検結果は OK か？

- | | |
|----|----------------------------------|
| OK | パワーウィンドーメイン SW 不良 |
| NG | 運転席ドア SW ～パワーウィンドーメイン SW 間ハーネス不良 |



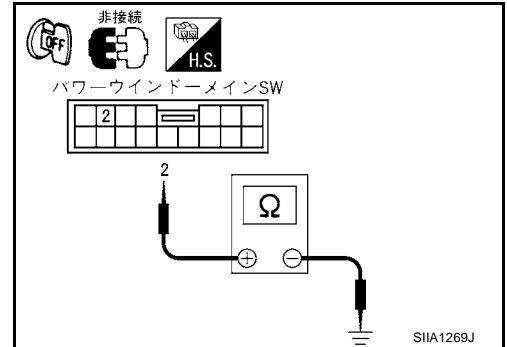
3. 運転席ドア SW 点検

1. パワーウィンドーメイン SW のコネクタを外す。
2. 運転席ドア SW のコネクタを接続する。
3. 運転席ドアを開閉操作し、パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクタ 2 番端子 ~ ボディーアース間のハーネス導通点検を行う。

運転席ドア開	
2 ~ ボディーアース	: 導通あり
運転席ドア閉	
2 ~ ボディーアース	: 導通なし

点検結果は OK か？

- | | |
|----|-------------------|
| OK | パワーウィンドーメイン SW 不良 |
| NG | 運転席ドア SW 不良 |



エンコーダ系統

JIS002P0

点検要領

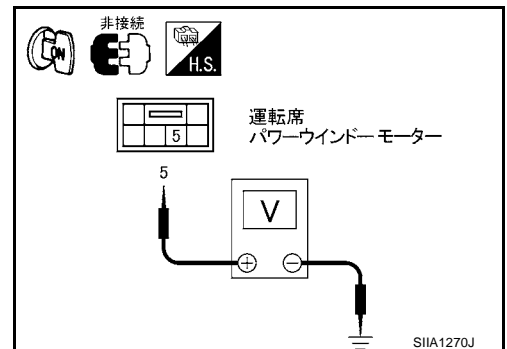
1. 運転席パワーウィンドーモーター（エンコーダ）電源信号点検

1. 運転席パワーウィンドーモーターのコネクタを外す。
2. キー SW を ON にする。
3. 運転席パワーウィンドーモーター車両側コネクタ 5 番端子 ~ ボディーアース間の電圧を点検する。

5 ~ ボディーアース : 約 10V

点検結果は OK か？

- | | |
|----|-----|
| OK | 3 へ |
| NG | 2 へ |



A

B

C

D

E

F

G

H

GW

J

K

L

パワーウィンドーシステム

2. 運転席パワーウィンドーモーター（エンコーダ）回路点検

1. キー SW を OFF にする。
2. パワーウィンドーメイン SW のコネクタを外す。
3. パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクタ 1 番端子 ~ 運転席パワーウィンドーモーター車両側コネクタ 5 番端子間のハーネス導通点検を行う。

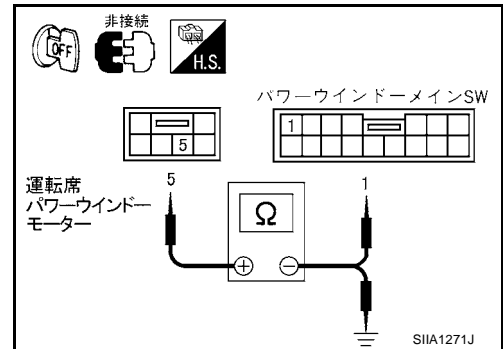
1 ~ 5 : 導通あり

4. 運転席パワーウィンドーモーター車両側コネクタ 5 番端子 ~ ボディーアース間のハーネス導通点検を行う。

1 ~ ボディーアース : 導通あり

点検結果は OK か？

- | | |
|----|--|
| OK | パワーウィンドーメイン SW 不良 |
| NG | 運転席パワーウィンドーモーター ~ パワーウィンドーメイン SW 間ハーネス不良 |



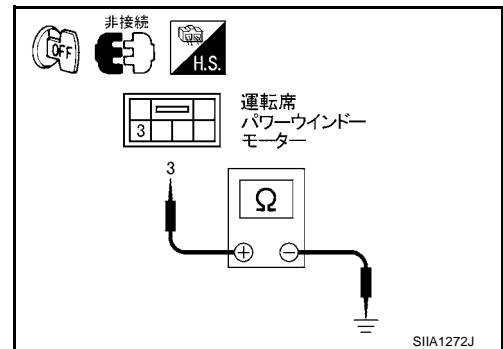
3. エンコーダアース点検

運転席パワーウィンドーモーター車両側コネクタ 3 番端子 ~ ボディーアース間のハーネス導通点検を行う。

3 ~ ボディーアース : 導通あり

点検結果は OK か？

- | | |
|----|-----|
| OK | 5 へ |
| NG | 4 へ |



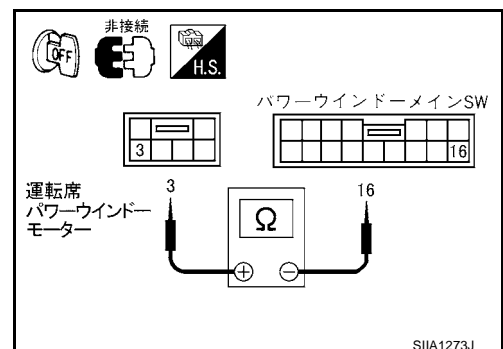
4. エンコーダアース回路点検

1. パワーウィンドーメイン SW コネクタを外す。
2. 運転席パワーウィンドーモーター車両側コネクタ 3 番端子 ~ パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクタ 16 番端子間のハーネス導通点検を行う。

3 ~ 16 : 導通あり

点検結果は OK か？

- | | |
|----|--|
| OK | パワーウィンドーメイン SW 不良 |
| NG | 運転席パワーウィンドーモーター ~ パワーウィンドーメイン SW 間ハーネス不良 |

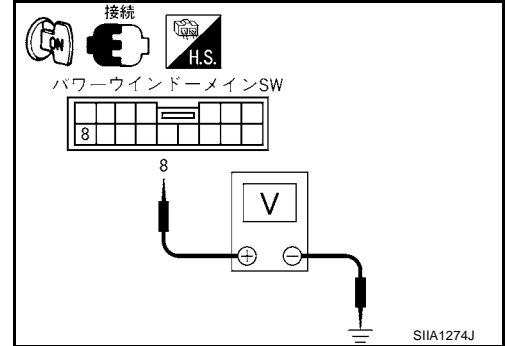
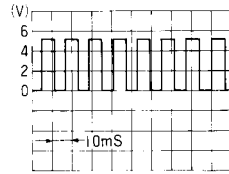


5. エンコーダ信号点検

1. 運転席パワーウィンドーモーターのコネクターを接続する。
2. 運転席パワーウィンドーモーターを作動させ、パワーウィンドーメインSW車両側コネクター8番端子～ボディーアース間のハーネス電圧（波形）を点検する。

パワーウィンドーモーター作動時

8～ボディーアース



点検結果はOKか？

- | | |
|----|-------------------|
| OK | パワーウィンドーメイン SW 不良 |
| NG | 6へ |

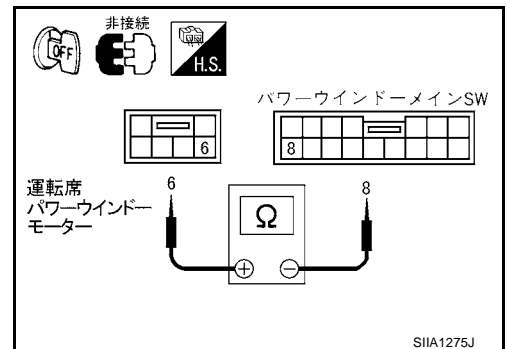
6. エンコーダアース回路点検

1. パワーウィンドーメイン SW 及び運転席パワーウィンドーモーターのコネクターを外す。
2. 運転席パワーウィンドーモーター車両側コネクター6番端子～パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクター8番端子間のハーネス導通点検を行う。

6～8 : 導通あり

点検結果はOKか？

- | | |
|----|--|
| OK | 運転席パワーウィンドーモーター不良 |
| NG | 運転席パワーウィンドーモーター～パワーウィンドーメイン SW 間ハーネス不良 |



A

B

C

D

E

F

G

H

GW

J

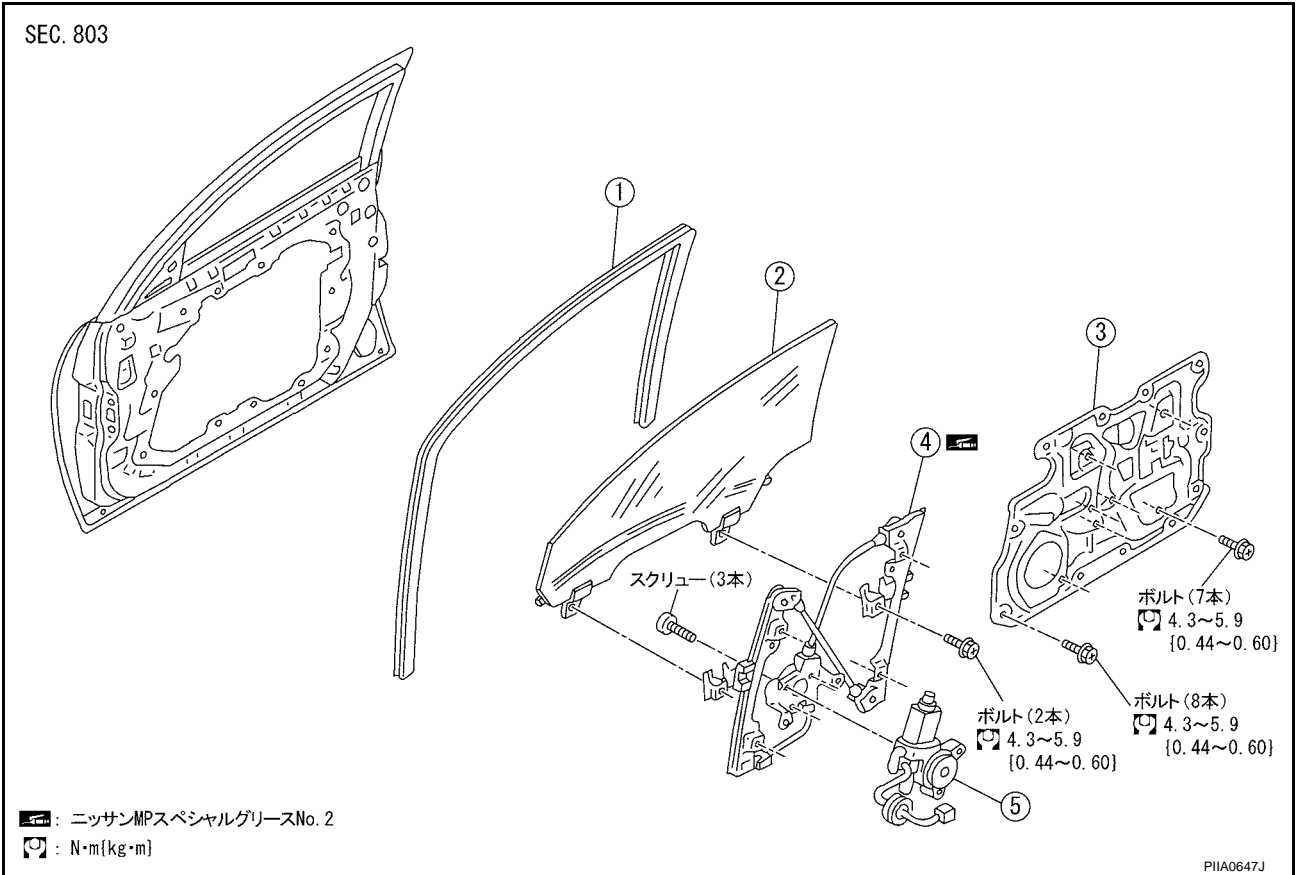
K

L

フロントドアガラス&レギュレーター
取り外し、取り付け

PFP:80300

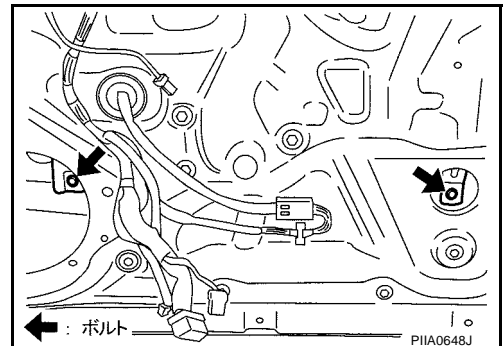
JIS002P1



- | | | |
|-------------------|-------------------|---------------|
| 1. : ドアガラスラン | 2. : フロントドアガラス | 3. : モジュールパネル |
| 4. : レギュレーター ASSY | 5. : パワーウィンドーモーター | |

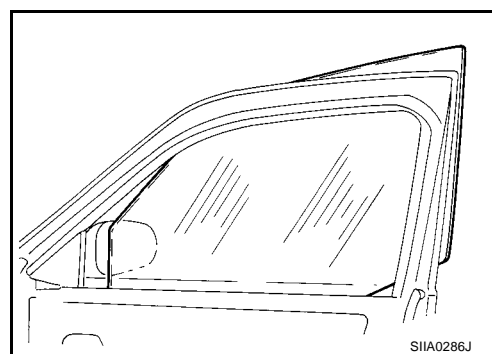
取り外し

1. フロントドアフィニッシャーを取り外す。「EI 外装・内装」の「[ドアトリム](#)」(EI-28 ページ) 参照。
2. ドアスピーカーを取り外す。「AV オーディオ・テレビ・ナビゲーション・電話」の「[ドアスピーカーの取り外し、取り付け \(BOSE サウンドシステム車以外\)](#)」(AV-20 ページ)、「[ドアスピーカーの取り外し、取り付け \(BOSE サウンドシステム車\)](#)」(AV-20 ページ) 参照。
3. パワーウィンドースイッチを操作してガラス取付ボルトが見える位置までドアガラスを昇降させる。
4. ガラス取付ボルトを外す。

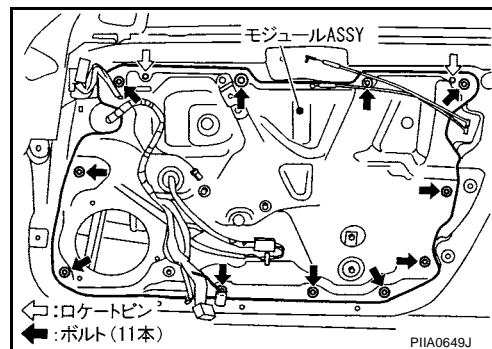


フロントドアガラス&レギュレーター

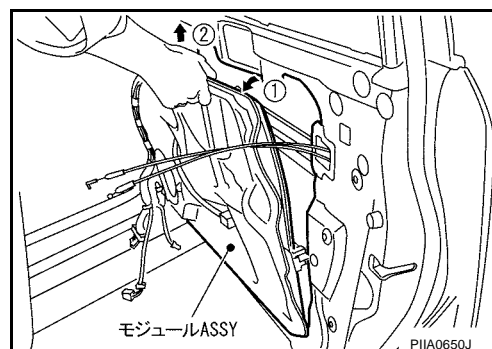
5. ドアガラスを持ち、後端より上に持ち上げながらサッシュ部よりガラスを抜き、ドア外側にガラスを引き抜く。



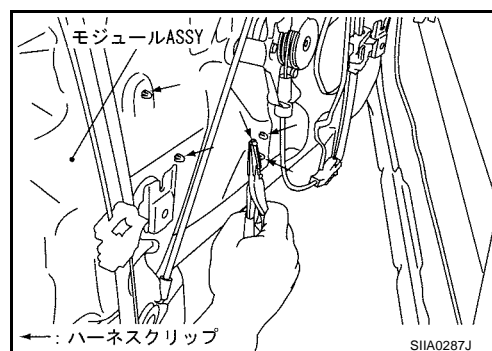
6. モジュール ASSY 取り付けボルトを外す。



7. モジュール ASSY 上側のロケートピン左右をドアパネルから抜く。
8. モジュール ASSY 上側を手前に引き、上に持ち上げながらドアパネルよりモジュール ASSY を取り外す。

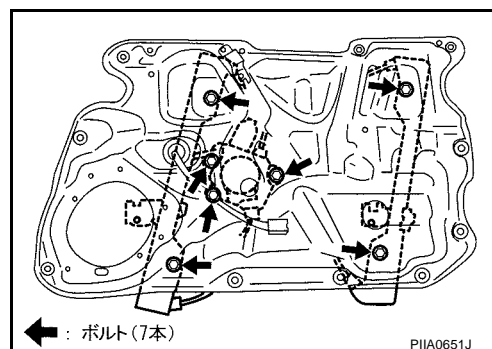


9. モジュール ASSY に配索されているハーネスコネクタを外し裏側よりハーネスクリップを外す。



10. モジュール ASSY からパワーウィンドーモーター及びレギュレーター ASSY を取り外す。

取り付けは、取り外しの逆の順序で行う。



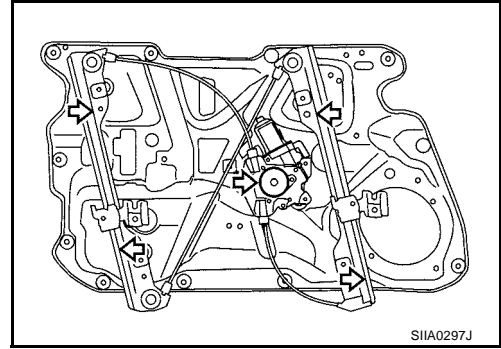
フロントドアガラス&レギュレーター

取り外し後の点検

レギュレーター ASSY は下記項目を点検し、異常があれば、交換又は給油する。

- ワイヤの摩耗状態
- レギュレーターの変形
- 各しゅう動部の給油状態

図の矢印はグリース「ニッサン MP スペシャルグリース No.2」の塗布箇所を示す。



取り付け後の設定（運転席のみ）

リミットスイッチの再設定

下記作業を行った場合は、リミットスイッチ（モーター内蔵）の再設定を行う。

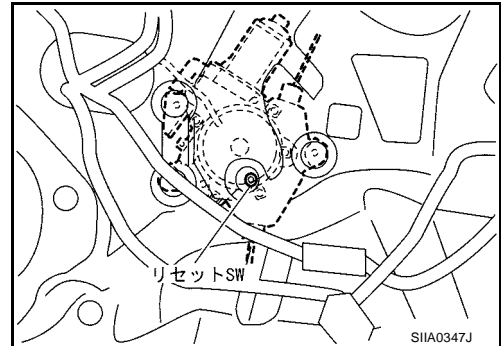
- レギュレーターの取り外し、取り付け
- レギュレーターからのモーターの取り外し、取り付け
- レギュレーターを単体で作動
- ガラスの取り外し、取り付け
- グラスランの取り外し、取り付け

リセット操作

車両に各部品を組付後下記手順で行う。

1. ガラスを上死点まで上げる。
2. リセットスイッチを押したままガラスを下死点まで下げる。
3. リセットスイッチを離しリセットスイッチが元に戻ったことを確認後ガラスを上死点まで上げる。

注意：ガラスを上死点まで上げるときは、オート操作では行わないこと。



建付点検

- ガラスが確実にグラスラン溝に入っていることを確認する。
- ガラスを少し（約 10 ~ 20mm）下げた位置でサッシュとのすきまが平行であるか点検する。ガラスとサッシュのすきまが平行でない場合は、レギュレーター取付ボルト、ガイドレール取付ボルト及びガラスとガイドレール取付ボルトを緩めてガラス位置を修正する。

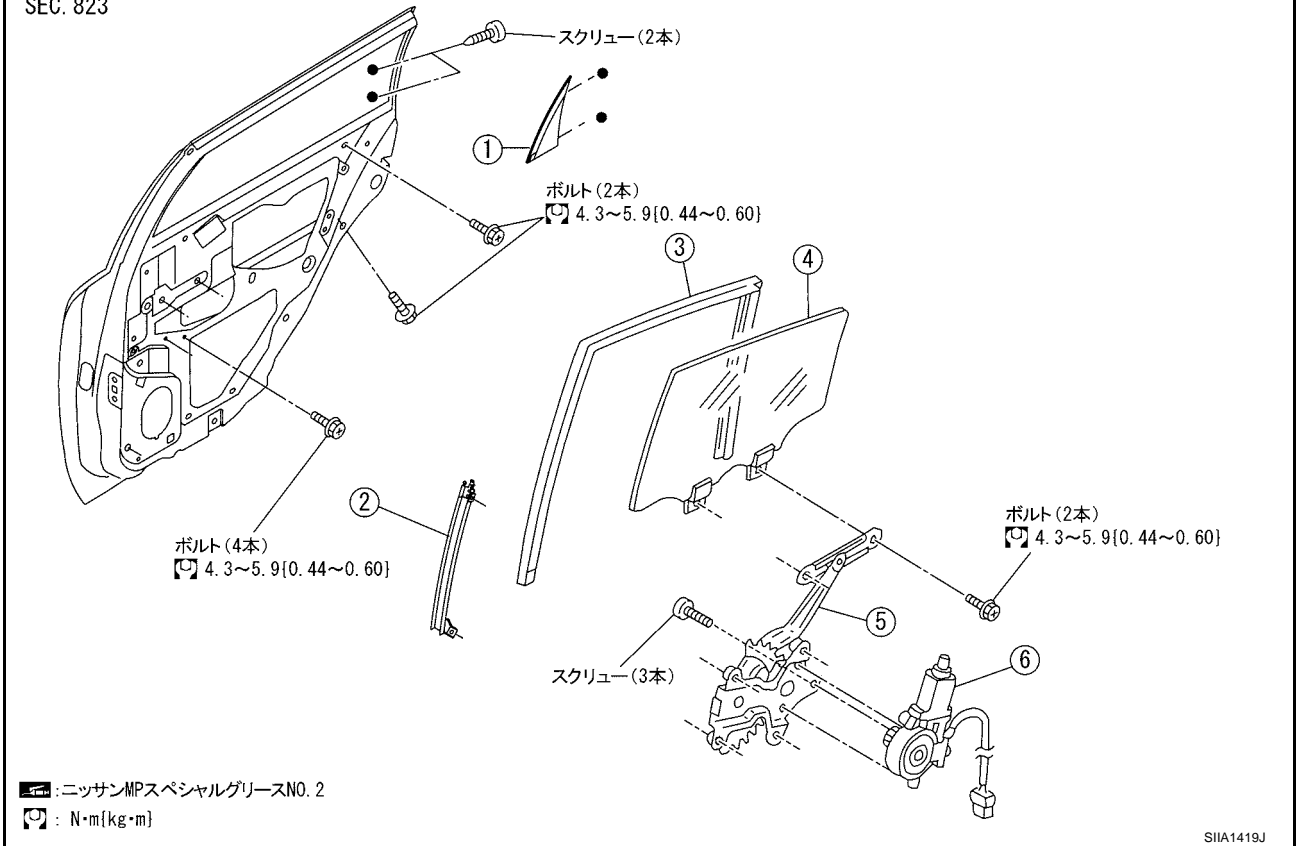
リヤドアガラス&レギュレーター

PF:82300

取り外し、取り付け

JIS002P2

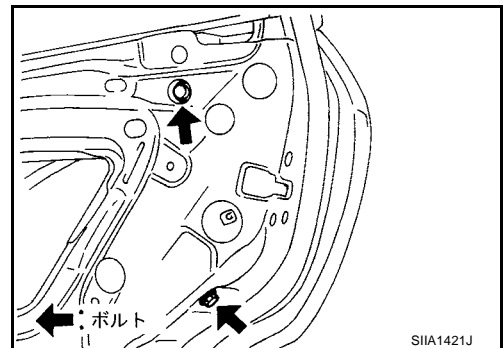
SEC. 823



- | | | |
|--------------|-------------------|-------------------|
| 1. : コナーカバー | 2. : リヤドアサッシュ | 3. : ドアガラスラン |
| 4. : リヤドアガラス | 5. : レギュレーター ASSY | 6. : パワーウィンドーモーター |

取り外し

- リヤドアフィニッシャーを取り外す。「EI 外装・内装」の「[ドアトリム](#)」(EI-28 ページ) 参照。
- シーリングスクリーンを取り外す。
参考：シーリングスクリーンを再使用する場合、シーリングスクリーン側ブチルテープが残るようにブチルテープをカッターで切断する。
- リヤドアサッシュ取付ボルトを外し、リヤドアサッシュをドアパネル内下端に置く。

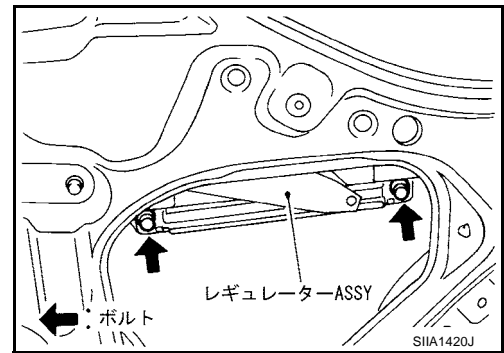


A
B
C
D
E
F
G
H
J
K
L

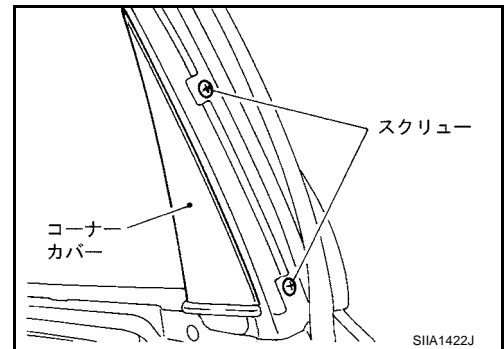
GW

リヤドアガラス&レギュレーター

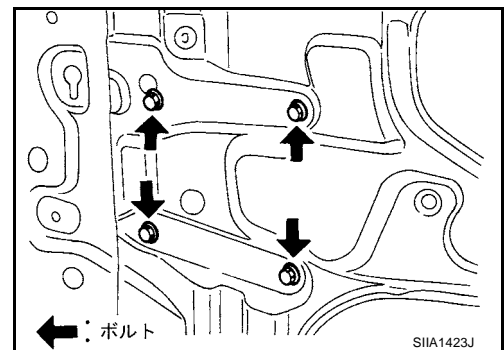
4. パワーウインドースイッチを操作してガラス取付ボルトが見える位置までドアガラスを昇降させる。



5. ドアウェザーストリップをめくり、コーナーカバー取り付けスクリーンを外す。
6. コーナーカバー部のドアガラスランをめくり、コーナーカバーを取り外す。



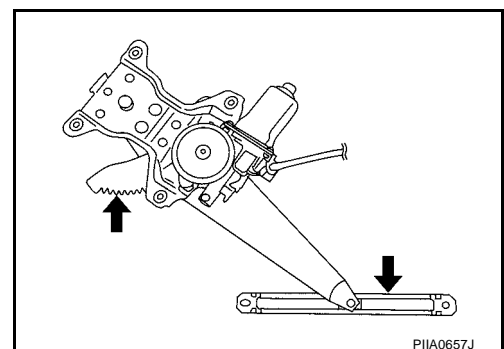
7. ガラス取付ボルトを外し、リヤドアガラスをドアパネル室内側から引き抜く。
8. パワーウインドーモーターのコネクターを分離する。
9. 取付ボルトを外しパワーウインドーモーター及びレギュレーターASSYをドアパネルから取り外す。



取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。

取り外し後の点検

- レギュレーター ASSY は下記項目を点検し、異常があれば、交換又は給油する。
 - ギヤの摩耗状態
 - レギュレーターの変形
 - スプリングの損傷
 - 各しゅう動部の給油状態
- 図の矢印はグリース「ニッサン MP スペシャルグリース No.2」の塗布箇所を示す。



建付点検

- ガラスが確実にガラスラン溝内に入っていることを確認する。

リヤドアガラス&レギュレーター

- ガラスを少し（約 10 ~ 20mm）下げた位置でサッシュとのすきまが平行であるか点検する。ガラスとサッシュのすきまが平行でない場合は、レギュレーター取付ボルト、ガイドレール取付ボルト及びガラスとキャリアプレート取付ボルトを緩めてガラス位置を修正する。

A

B

C

D

E

F

G

H

GW

J

K

L

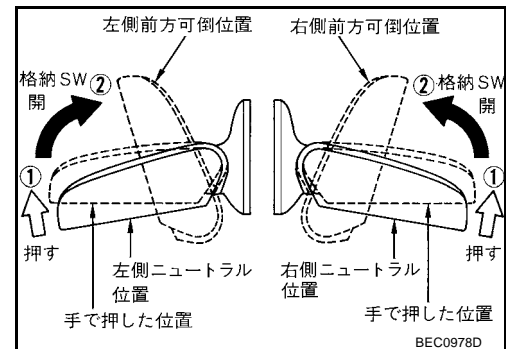
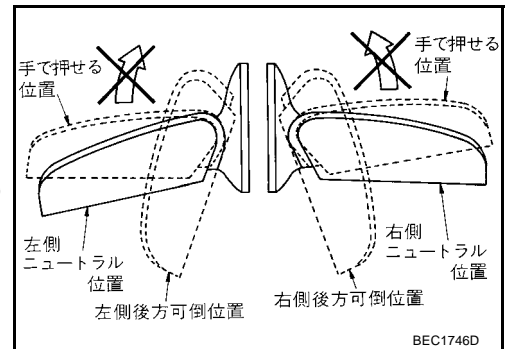
ドアミラー

FFP:96301

電動格納ドアミラーの取り扱い上の注意

JIS002P3

- 電動格納ドアミラーの格納操作は手動で行わないこと。もし、手動で操作を行なったときは、必ず格納スイッチで手動で操作した方向と反対側停止位置まで操作すること。なお、このとき“カチン”という大きな音が出るが異常ではない。(手動でミラーボディをニュートラル位置に操作して走行するとドアミラーに振動が出たり、格納時引っ掛かったり、時々格納しないという現象が発生する。)



注意: ミラーボディを無理に前方に倒すと、ミラー本体が破損する恐れがある。

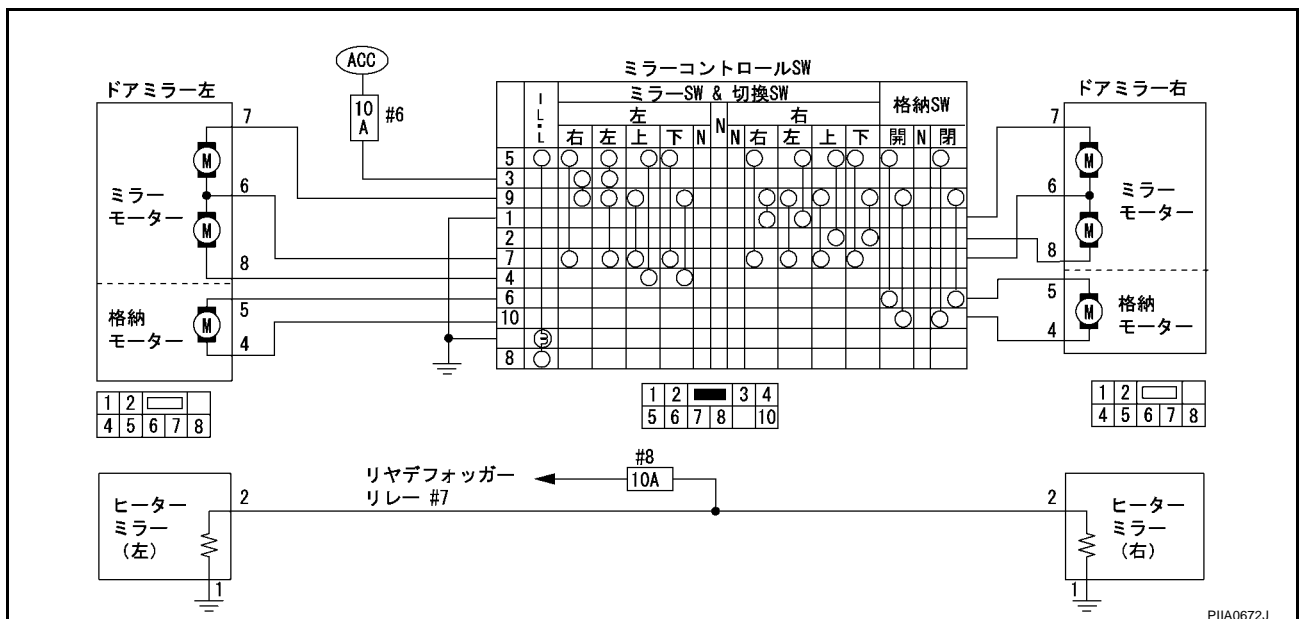
- 格納スイッチでニュートラル位置から全閉(後方可倒)位置に操作したとき、初動時に“カチッ”という小さな音が出るが異常ではない。
- 電動格納ドアミラーのミラーボディはニュートラル位置で、右側と左側の取付角度が異なるため、格納スイッチで操作したとき、右側に多少の遅れが発生する。

参考: 電動格納ドアミラーのミラーボディがニュートラル位置の状態のとき、手で前方に押した状態で、さらに格納スイッチを開く方向に操作すると、ミラーボディが前方可倒位置に移動するが異常ではない。この場合、必ず格納スイッチで全閉(後方可倒)位置まで移動させること。

- 電動格納ドアミラーは、格納スイッチを連続5回以上操作すると、作動しなくなる場合がある。(過熱防止のため)この場合は、約5分間放置すると正常に復帰する。

回路図

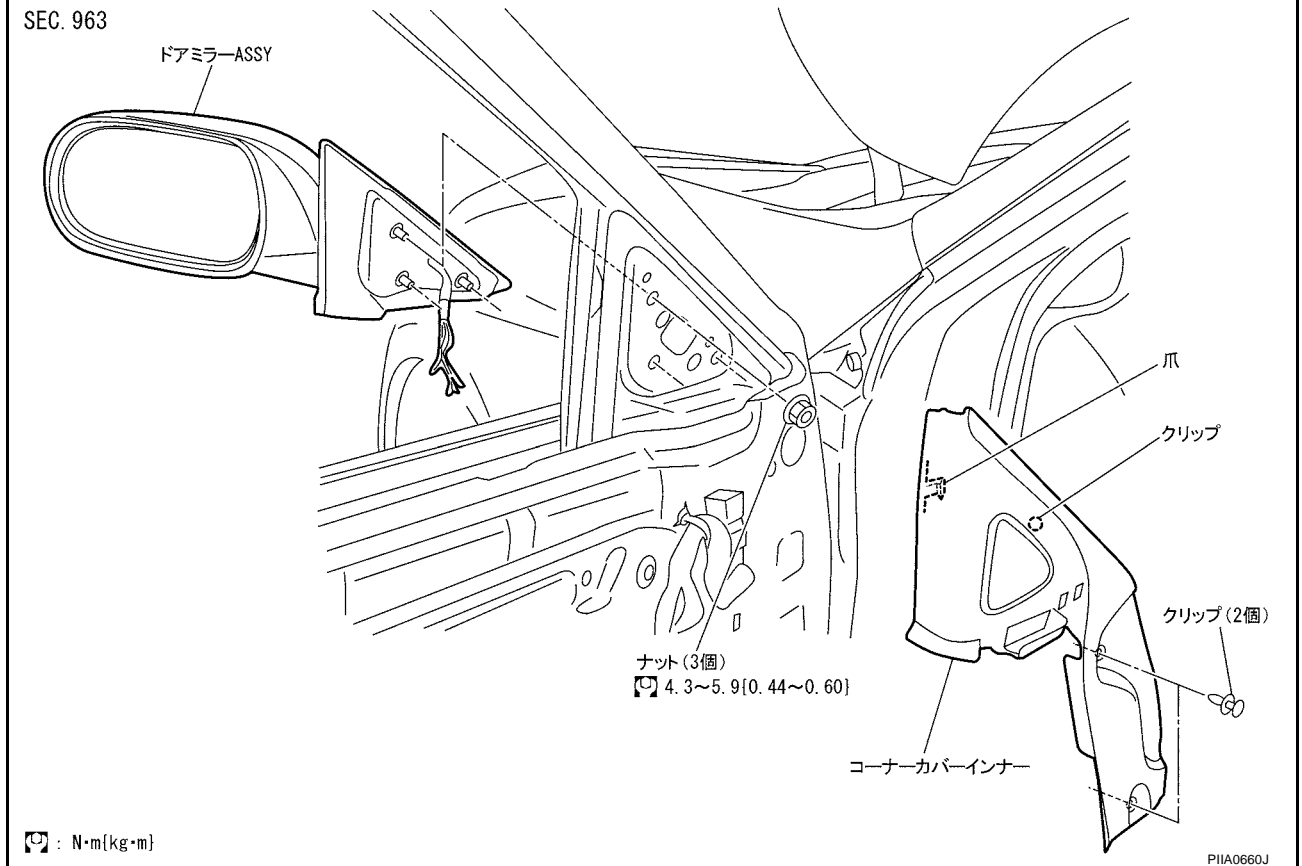
JIS002P4



ドアミラー

取り外し、取り付け

JIS002P5

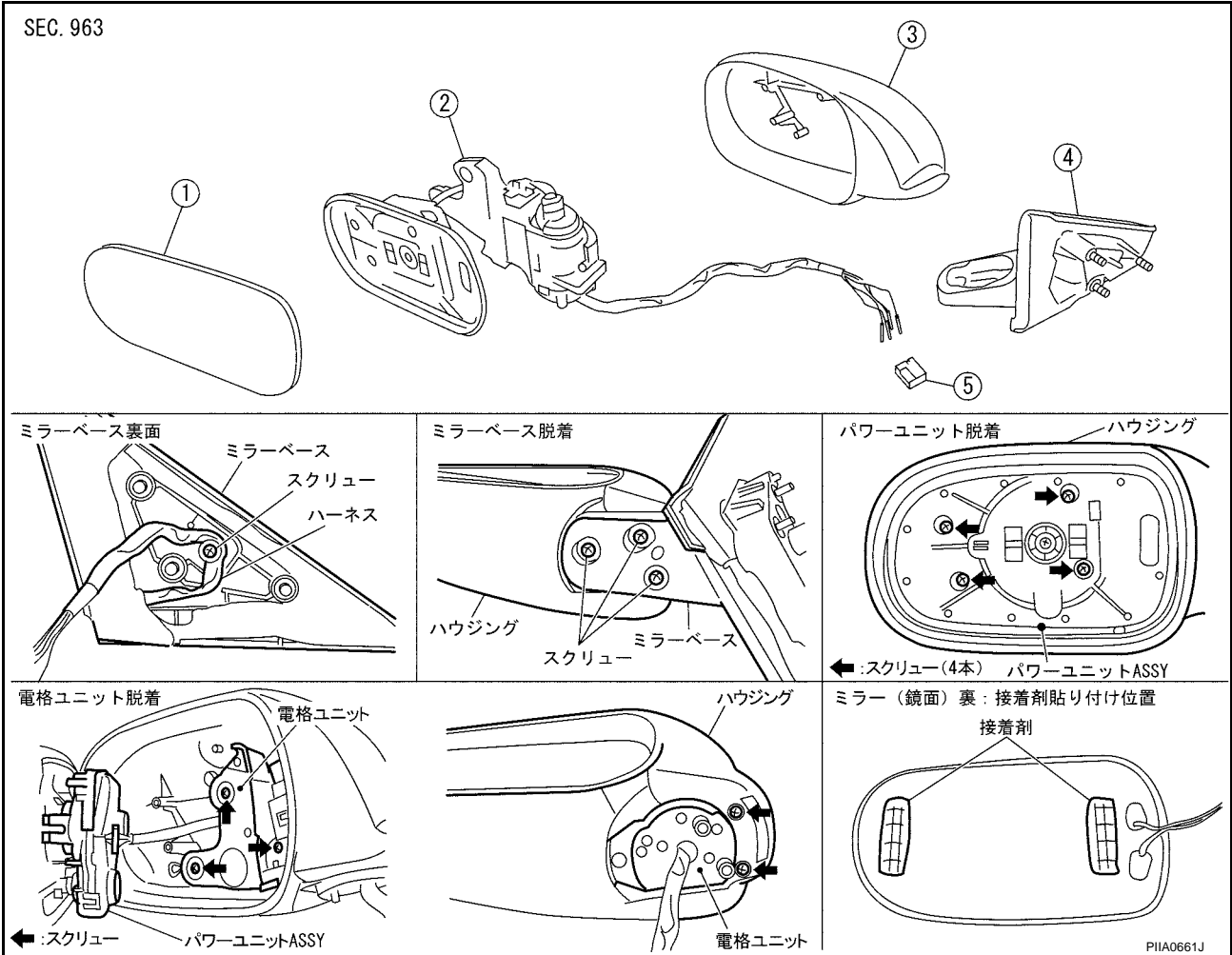


注意： ミラー本体を傷つけないように注意すること。

1. フロントドアフィニッシャーを取り外す。「EI 外装・内装」の「[ドアトリム](#)」(EI-28ページ) 参照。
2. 取り付けクリップを外し、コーナーカバーインナーを取り外す。
3. ドアミラーハーネスコネクターを外す。
4. ドアミラー取付ナットを外し、ドアミラー ASSY を外す。

取り付けは、取り外しの逆の手順で行なう。

GW

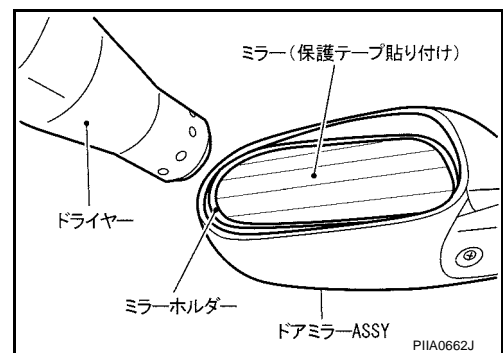


- 1. : ミラー(鏡面)
- 2. : パワーユニット&電格ユニット
- 3. : ハウジング
- 4. : ミラーベース
- 5. : コネクター

ミラー(鏡面)の取り外し

1. ミラーハウジング及びミラー(鏡面)に保護テープを貼る。
2. 図のようにドライヤーでミラーホルダー全周を温める。

注意: ドライヤーをミラーホルダーに近づけ過ぎないように注意すること。また、ミラーホルダーを温め過ぎないように注意して作業を行うこと。(ミラーホルダーが変形してしまうため。)

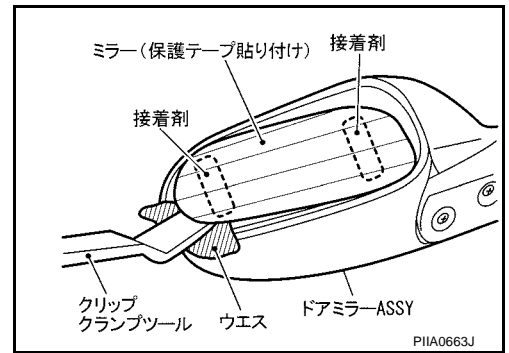


ドアミラー

3. ミラーホルダー（コーナー部付近）とミラーの間にクリップクランプツール等の樹脂製のへらを差し込む。

注意：ミラーホルダー傷付き防止の為、クリップクランプツールとミラーホルダーの接触部にウエスを挟み込む。

4. ミラーホルダー全周にわたり、ゆっくりとミラーを押し上げ剥す。このとき、ミラーホルダーとミラーを貼り付けている接着剤も同時に剥し、ミラー（鏡面）をミラーホルダーから取り外す。



ミラー（鏡面）の取り付け

1. ドライヤーでミラーホルダー全周を温める。

注意：ドライヤーをミラーホルダーに近づけ過ぎないように注意すること。また、ミラーホルダーを温め過ぎないように注意して作業を行うこと。（ミラーホルダーが変形してしまうため。）

2. ミラーホルダーに接着剤を貼り付ける。

3. ミラーホルダーコーナー部にミラー（鏡面）を斜めに差し込み、ミラー全周を押しながらミラーホルダーにはめ込む。

注意：取り付け後、ミラーホルダーに浮き及び変形が無いことを確認すること。

A

B

C

D

E

F

G

H

GW

J

K

L

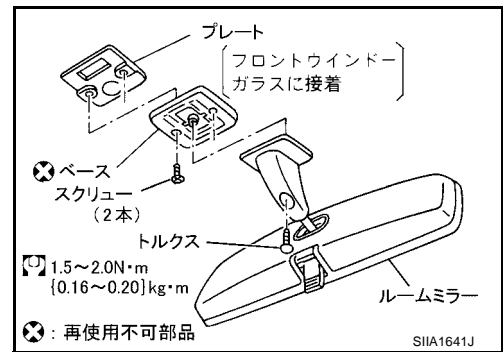
インサイドミラー
取り外し、取り付け

PFP:96321

JIS002P7

取り外し

トルクス (T20) を外して取り外す。



取り付け

取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。